

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2022/11/25		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220592002301	科目番号 / Course code	05920023
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	B1長崎から海外輸出された陶磁器 / Ceramics Exported from Nagasaki		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	野上 建紀 / Takenori Nogami, 小島 卓也		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	野上 建紀 / Takenori Nogami		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	野上 建紀 / Takenori Nogami		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nogami-takenori nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟11階 野上研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2919		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時 (メールにて要事前連絡)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	考古学の資料の中でも陶磁器は、最も多く出土するものの一つである。壊れやすく、再利用が難しいことから、廃棄されやすく、かつ土中や水中にあっても消失することなく残るからである。また、世界各地で生産され、それぞれの地域や時代を映す「鏡」となることから最も重要な資料の一つでもある。陶磁器を観察すれば各地域の文化や相互の影響関係も理解することができるのである。長崎県産をはじめとした日本の陶磁器も世界各地の需要に応えた時期があり、それは長崎から運ばれていた。陶磁器を通して、その背後にある文化交流を読み解き、日本と世界の関わりを理解できるようになることが授業の目的である。		
授業到達目標/Course goals	1. 世界に輸出された長崎県をはじめとした日本の陶磁器について説明することができるようになる。 2. 長崎県の波佐見焼などの日本の陶磁器が世界に与えた影響を説明することができるようになる。 3. 世界情勢で長崎県の波佐見焼などの日本の陶磁器の輸出が発展した過程を説明することができるようになる。 4. 日本 (特に長崎) と海外との関わりを示す考古資料を説明することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート・小課題の提出状況 50~70点 (合計点を50~70点満点で換算)、最終試験 (あるいは最終 レポート) 30~50点の計100点		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	【予習】授業の最後に次回の内容について説明しますので、関連する資料を確認するようにしてく ださい。(2h) 【復習】授業で配布された資料を整理し、授業の内容について理解を深めるようにしてください。 (2h)		
キーワード/Keywords	陶磁器、文化交流、水中考古学		
教科書・教材・参考書/Materials	『陶磁考古学入門』(2021年 勁草書房)		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	授業内容に関連する長崎市内の施設・遺跡の見学を授業の予復習とする。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	質問や相談は気軽に研究室へ（事前にメールをください。）
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	野上 建紀 / 有田町歴史民俗資料館での勤務経験（25年間） / 埋蔵文化財を中心とした文化財保護行政と資料館の学芸業務の経験を生かして、考古学と社会の関わりについても説明する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1/2回	考古学入門
第3/4回	肥前磁器の始まり
第5/6回	肥前磁器の生産の本格化
第7/8回	肥前磁器の海外輸出の始まり
第9/10回	海外輸出された肥前磁器（1）
第11/12回	海外輸出された肥前磁器（2）
第13/14回	国内市場の開拓から現在まで
第15回	質疑応答、最終試験またはレポート

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2022/11/28 ~ 2023/02/02		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220592004901	科目番号 / Course code	05920049
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	B1日本、世界での日本語教育 / Japanese Language Education in Japan and the World		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小島 卓也		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	小島 卓也		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	小島 卓也		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	t.kojima nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	多文化社会学部(総合教育研究棟)11階 小島研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	時事ですが、Eメールで事前にアポイントメントをとってください		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>この科目では、日本国内外での様々な出来事を日本語教育という視点を通して見ることで「日本を知る、世界を知る」の達成を目指します。</p> <p>日本国内に関しては、日本語教育が関連する出来事にはどんなものがあり、なぜそれらが存在しており、それらは私たちや社会にとってどんな意味があり、どんな課題を持っており、どのように課題解決に向けて動いていけば良いのかを考えます(具体的なテーマは授業内容参照)。日本国外に関しては、各地域の社会情勢や言語政策と学習者や教師や教育機関への調査などをと、日本語教育の位置づけやその挑戦と課題をみていきます。</p> <p>日本国内では外国人材の受け入れが進んでいます。日本語を母語として生まれ育てば、日本国外で生活することになっても、日本語を活用することが切っても切れない形で存在しつづけます。普段は気づかないかもしれませんが、日本語教育に関わる出来事は私たちの身の回りにたくさんあるのです。そんな短すぎて気づかない日本・日本語・日本人のいろいろを振り返りましょう。日本語を母語としない場合でも、この科目は社会における自分の位置づけを考える良い機会になると思います。</p> <p>なお、多少は含まれますが、日本語の仕組みや日本語教育の方法を学ぶわけではありませんので、その点は理解しておいてください。</p>		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国内外の日本語教育に関わる出来事を資料などを使い分析できるようになる。 ・日本語教育の関わる諸問題に関して多様な視点から考えられるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	確認問題 : 60% (10% × 6回) 中間課題 : 15% 最終課題 : 25%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習：各授業のトピックに関する資料を読んだり動画を視聴したりする。(2h) 事後学習：オンライン上の課題を各授業終了後、一定期間内に行う。なお、この課題に対する結果は最終的な成績に含まれる。(2h)
キーワード/Keywords	日本語教育、言語政策、移民政策
教科書・教材・参考書/Materials	事前に共有する資料や動画と授業のパワーポイント
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業は基本的に日本語で行いますが、授業外では英語でも対応可能です。必要であれば、英語で課題に取り組むこともできます。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	小島 卓也/日本とオーストラリアとイタリアの大学で日本語教育の実務経験/実際の教育現場の視点も取り入れながら日本国内外の日本語教育に関連する諸事情を読み解いていく
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	イントロダクション：コース内容、スケジュール、課題、評価の説明
2	日本と世界の日本語教育の概観
3	日本：高度外国人材とグローバル人材
4	日本：日本語学校と大学
5	日本：技能実習生と特定技能実習生
6	日本：EPA看護師・介護士
7	日本：小中学校の海外ルーツの子供たち
8	日本：「やさしい日本語」
9	日本：多文化共生社会に関する映画鑑賞
10	世界：東アジア・東南アジア
11	世界：ヨーロッパ
12	世界：北米
13	世界：オセアニア
14	世界：中東や南米などその他の地域
15	まとめと振り返り

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2022/11/24		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220586005301	科目番号 / Course code	05860053
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 12711_005		
授業科目名 / Course title	B2経済活動と社会 / Economic Activity and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高井 計吾, 林川 万理水 / Hayashikawa Marina		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	高井 計吾		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	高井 計吾		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kegotak nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館525		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールでアポイントメントを取った日時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講義では経営学の観点から、経済社会において重要な役割を果たす企業の組織と戦略を取り上げます。企業が社会とどのように関わり、目的の達成に向けて活動を行っているかを学びます。		
授業到達目標/Course goals	社会に貢献できる市民として求められる多様な基礎的知識を養成します。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題(20点)+授業への取り組み(20点)+期末テスト(60点)=合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習: 各講義の最後に次回講義内容に関連した課題を提示するので、各自自分の考えをまとめた上で講義を受けてください。(2h) 復習: 講義資料を再読し、理解を深めるようにしてください。(2h)		
キーワード/Keywords	経営戦略、経営組織		
教科書・教材・参考書/Materials	参考書: 978-4532134037「マネジメント・テキスト 経営戦略入門」網倉 久永 (著), 新宅 純二郎 (著)		
受講要件(履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) /Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	「なぜ」「どのように」という「理屈」を突き詰めることは、経営学に限らずすべての学問分野に共通する大切な考え方です。その一方で、経営学の理屈では説明できない出来事も世の中にはたくさんあります。「理屈」と「世の中」のどちらか一方に留まることなく、2つの世界を自由に行き来できるような柔軟な視点を身につけてもらいたいと思います。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 イン트로ダクション	本講義の全体的な内容ならびに進め方、成績評価方法などの概要を説明します。
第2回 経営戦略の基礎	経営戦略を学習する前提として、戦略の分類軸、戦略の階層性(事業戦略 全社戦略)など戦略論において基礎的な概念を学修します。
第3回 業界の構造分析	企業と外部環境、さらに産業の収益性に影響を及ぼす要因にはどのようなものがあるのかを説明します。
第4回 差別化	企業が他の企業とどのような点で違いを作り出し、市場に受け入れられるのかを差別化の観点から学びます。
第5回 コスト・リーダーシップ	「安く作る」コストリーダーシップ戦略がどのように実現され、企業にとってどのような優位性をもたらすのかを説明します。
第6回 顧客価値	差別化やコスト面での優位性は、顧客がそれに価値を見い出して初めて意味を持ちます。企業がそのような顧客価値をどのように創出しているのかを学びます。
第7回 競争地位	リーダーやニッチャーなど、市場での地位に応じて企業の戦略はどのように変わるのかを説明します。
第8回 製品ライフサイクル	製品やサービスがどのように市場に導入され、受け入れられ、衰退していくのかをライフサイクルの考えを用いて学びます。
第9回 ビジネスモデル	優れた企業は、独自の仕組みを構築することで競争優位を獲得しています。そのような競争優位を生み出す源泉としてのビジネスモデルの実例を学びます。
第10回 多角化	企業がなぜ既存事業の枠を超えて拡大を目指すのか、またその手法にはどのようなものがあるのかを学びます。
第11回 垂直統合	企業活動における各プロセスは、企業内部、企業外部のいずれかにおいて実行され、各プロセスの調整手段として、外注と内製があります。このような企業の取引関係の構造を、市場と組織の観点から説明します。
第12回 事業の定義と事業ドメイン	企業が自らの立ち位置を再確認するとともに、将来的にどの方向に成長するのかをも決める重要な決定事項である、事業ドメインの概念を学びます。
第13回 企業間提携	企業が提携関係を構築する理由、そして提携がもたらす効果、さらには提携相手を選択する上での注意点などを説明します。
第14回 企業ネットワーク	社会のつながりの中で生まれる強みや行動を、ネットワーク上の位置や構造で考える「ネットワーク理論」を紹介し、その戦略的応用について考えます。
第15回 まとめ	これまでの講義内容の要点をまとめます。
第16回 期末テスト	期末テストを実施します。

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2022/11/28 ~ 2023/02/02		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220586005701	科目番号 / Course code	05860057
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 12721_005		
授業科目名 / Course title	B2企業の仕組みと行動 / Organization and Behavior of Enterprise		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	林川 万理水 / Hayashikawa Marina		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	林川 万理水 / Hayashikawa Marina		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	林川 万理水 / Hayashikawa Marina		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hmiyuki nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部 (方淵キャンパス) 本館610号室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6386		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日16:15-17:00 (メールもしくは講義前後に要予約)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	企業は外部に向けて経営状況を報告する義務を負うが、一連の企業レポートがどのように行われ、投資家がそれをどのように活用して経済的意思決定に組み込むのか、また企業は市場でいかにして信頼を得るのかを学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	変化し続ける社会環境において、最適解を見つける社会科学の特徴と意義を理解し、企業開示問題を題材としながら問題解決する能力を涵養することを目標とする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義中のグループワーク (30%)、期末レポート (50%)、その他ディスカッション参加度など (20%) による評価する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	教科書理解の部分は予習復習。 グループワークの作法を学習した後、講義外で練習を行う。		
キーワード/Keywords	財務諸表、企業報告、任意開示、戦略マネジメント、投資意思決定		
教科書・教材・参考書/Materials	内藤文雄『会計学エッセンス第4版』中央経済社、2019年		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	自ら考え動く主体的単度を要する。また、講義内容の理解は、初回からの知識の蓄積により達成されるものであり、グループワーク実施にも一定の共有知識が必要である。そのため毎回出席して理解を高める必要がある。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		

備考 (URL) /Remarks (URL)	講義のグループワークを始める前に、コーチングとファシリテーションの作法を少し話します。初めての方には、新鮮な体験ワークとなります。学び方の学びです。傾聴技法 (active listening)、他者感知、質問技法、つまり「聴く」「感じる」「伝える」の一連主体的反応の訓練を通して、学友との刺激の中で自らの解を練り上げる訓練をします。
学生へのメッセージ/Message for students	答えのない問を考え続ける楽しさを体験してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション： 会社と社会の関係～財務報告と監査の役割
第2回	社会科学としての会計学 (1) シャムサンダー氏講演録「想像の中の会計という世界」の読解と問題提起の理解
第3回	社会科学としての会計学 (2) 功利主義哲学と社会科学の関係～マイケルサンデルの問題提起を参考に
第4回	社会科学としての会計学 (3) コストベネフィット分析と会計諸問題
第5回	財務報告の国際的動向 (1) 財務報告の目的変遷～会計説明責任と投資意思決定支援
第6回	財務報告の国際的動向 (2) IFRSの組織変遷とアドプション問題の概要
第7回	会計監査の諸問題 (1) 厳格監査と馴合監査 ストーリーを使っての問題理解と解決のためのワーク
第8回	会計監査の諸問題 (2) 銀行と監査 ストーリーを使っての問題理解と解決のためのワーク
第9回	会計監査の諸問題 (3) ベンチャー企業と監査 ストーリーを使っての問題理解と解決のためのワーク
第10回	投資意思決定上の諸問題 (1) 財務情報と非財務情報 グループワークを通じての経営戦略意思決定の体験
第11回	投資意思決定上の諸問題 (2) 強制開示と任意開示～グループワークを通じての経営戦略意思決定の体験
第12回	投資意思決定上の諸問題 (3) 投資家との新たなコミュニケーションツールの創造～グループワークを通じての経営戦略意思決定の体験
第13回	任意開示意思決定上の諸問題 (1) プロプライエタリーコストと開示意思決定～グループワークを通じての経営戦略意思決定の体験
第14回	任意開示意思決定上の諸問題 (2) 評判マネジメントと開示意思決定～グループワークを通じての経営意思決定の体験
第15回	任意開示意思決定上の諸問題 (3) 財務トレンドと任意開示量の関係～グループワークを通じての経営意思決定の体験

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2022/11/28 ~ 2023/02/02		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220586026501	科目番号 / Course code	05860265
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 14511_005		
授業科目名 / Course title	B3社会とマスメディア / Role of Mass Media in Modern Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	矢野 香 / Yano Kaori, 内野 成美 / Utino Narumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	矢野 香 / Yano Kaori		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	矢野 香 / Yano Kaori		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kyano nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	キャリアセンター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2087		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールか電話でアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	言葉や映像・画像を活用して社会にメッセージを発信する新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、インターネット等のマスメディアを取り上げる。マスメディアが情報を伝えるためにどのような表現の工夫をしているかを理解するとともに、それらを批判的に受け取り論理的に考える態度の育成を図る。また、自らの情報発信において、マスメディアが行っているスキルを活用することを目指す。		
授業到達目標/Course goals	(1)マスメディアが、社会の事象をどのように取り上げ、どのように表現の工夫をしているかを理解することができるようになる。 (2)マスメディアからの発信を、私たちはどのように受信すれば良いかを理解することができるようになる。 (3)自己の意見を持ち、それを相手に向けてどのように発信すれば良いかを理解し、実践できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート課題(5点×8回)+予習・復習課題(10点+15点)+グループワーク・プレゼンテーション課題 (15点)+最終レポート課題(15点)+授業への取り組み(5点)=合計100点のうち60点以上を合格とする 。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習(2h)...課題としてワークシートや資料、プレゼン資料等を作成し、LACSから提出。 復習(2h)...講義内容を受けた課題としてレポートや企画案等を作成し、LACSから提出。		
キーワード/Keywords	マスメディア、オウンドメディア、新聞、ラジオ、テレビ、インターネット、批判的思考、論理的 思考、自己表現		
教科書・教材・参考書/Materials	新聞、書籍、雑誌、テレビ、ラジオ、インターネットなど、身近なマスメディア。 必要に応じた新聞や雑誌の記事や番組などの資料をLACSに掲載。		
受講要件(履修条件) /Prerequisites	自分の考えをまとめ、表現しようという意欲があること。 グループメンバーとの協働に積極的に係る姿勢があること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	現在の「社会」、そして将来の「社会」を作っているのは私たち一人ひとりです。当然、私たち一人一人は異なる意見や視点を持っています。そうした“個”の表現を意識するとともに、社会という“公”の表現の中で対応する力をつけるために、本モジュールでは、私たちが“公”の社会の中で“個”としてどうやって生きていくのか、マスメディアを題材にして考えます。 放送局や新聞社の記者やディレクターなど、現在マスメディアで活躍中の現場の方々にもご指導いただく機会を設ける予定です。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	矢野 香/日本放送協会(NHK)アナウンスでのニュース・報道番組キャスター歴17年を経て現職。起業後、政治家・経営者などにスピーチ指導を行う。講演・研修実績多数。 日本放送協会(NHK)・日本テレビ(NTV)系列局という公共放送・民間放送局の両方での勤務経験があるほか、商業出版や新聞・雑誌での連載など、現在もマスメディアに関わっている教員が、情報制作者側の意図について解説。学生のメディアリテラシー習得を目指す。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	12月1日(木) オリエンテーション
第2回	12月1日(木) 学生生活とメディア
第3回	12月8日(木) 多様なメディア
第4回	12月8日(木) 新聞・雑誌
第5回	12月15日(木) ラジオ・テレビ
第6回	12月15日(木) 公共放送と民間放送
第7回	12月22日(木) オウンドメディア
第8回	12月22日(木) 社会における情報発信
第9回	1月5日(木) 情報の伝え方 : わかりやすく・正しく伝えるために
第10回	1月5日(木) 情報の伝え方 : わかりやすく・正しく伝えるために
第11回	1月12日(木) 情報発信実践
第12回	1月12日(木) 情報発信実践
第13回	1月26日(木) マスメディアとソーシャルメディア
第14回	1月26日(木) マスメディアとオウンドメディア
第15回	2月2日(木) まとめ

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2022/11/24		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220586026701	科目番号 / Course code	05860267
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 14531_005		
授業科目名 / Course title	B3心と社会 / Mind and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	内野 成美 / Utino Narumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	内野 成美 / Utino Narumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	内野 成美 / Utino Narumi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soudan nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育実践研究棟 1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2297		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日の昼休み、もしくは木曜日の3限。その他の時間でも可能な限り対応しますが、まずはメールで連絡をしてください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	臨床心理学の視点から、言葉の果たす役割とコミュニケーションへの理解を深める。また、社会の一員として人々の多様性を理解し、アサーティブに自己を表現する方法や適切に相談する意義を理解する。		
授業到達目標/Course goals	○コミュニケーションを支える言葉の意義を理解することが出来るようになる。 ○様々な対人関係の困難を理解し、適切な相談の意義や役割を理解することが出来るようになる。 ○多様な表現を使って、適切なコミュニケーションができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業時の実習あるいは事後の振り返り(グループワーク等を用いる) : 45% グループでの活動の成果 : 30% まとめのレポート : 25% 総合して60%以上を合格とします。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	(事前) 授業に使用するプリントを印刷し、不明な用語などを調べます(2h) (事後) 講義内容に関連した新聞記事等を読み、講義内容を振り返ります(2h)		
キーワード/Keywords	カウンセリング、他者理解、自己受容		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用しません。授業前にLACS上に資料を掲示します。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	対人関係及び心理学に興味を持ち、積極的に活動にも参加できる意欲のある学生を望みます。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	グループワークや演習を多用します。	
学生へのメッセージ/Message for students	心理学や教育学は、一部の人にだけ役立つような内容ではありません。私たちの生活は、人との関わりなしには成り立ちません。私たちは知らず知らずのうちに人に育てられ、人を育てていくのです。そのことを意識し、何気ない関わりを大切に出来るような対人関係の素地づくりをしていきたいと思います。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	長崎県教育委員会スクールカウンセラー、スクールカウンセラースーパーバイザー	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	オリエンテーション	B
第2回	自己紹介・他者理解	A B
第3回	構成的グループエンカウンター1	B C
第4回	構成的グループエンカウンター2	B C
第5回	前回の振り返り	A B
第6回	こころの発達について	A B
第7回	いろいろなコミュニケーション 言語・非言語	A C
第8回	傾聴訓練	B C
第9回	対人関係の困難について1	A B
第10回	対人関係の困難について2	C D
第11回	グループワーク1 問題の発見及び調査方法の検討	A B
第12回	グループワーク2 内容に関するグループディスカッション	B D
第13回	発表1	A B
第14回	発表2	A B
第15回	授業の総括	A D
第16回	まとめのレポート	A D

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2022/11/25		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220586019701	科目番号 / Course code	05860197
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 12511_005		
授業科目名 / Course title	B4文化と社会 / Culture and Society (Literature Philosophy History and so on)		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	田口 由香 / Taguchi Yuka, 工藤 哲洋 / Takahiro Kudoh, 中島 貴奈 / Nakajima Takana		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	田口 由香 / Taguchi Yuka		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	田口 由香 / Taguchi Yuka, 中島 貴奈 / Nakajima Takana		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	y.taguchi@nagasaki-u.ac.jp (責任者: 田口) メールを送信する際は @に変更して送信してください。 授業の各内容に関することは、LACS等を使って、各担当教員に直接連絡して下さい。		
担当教員研究室/Office	教育学部 6 1 4 研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2312		
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	日本近代史における国際環境を含む研究状況を踏まえた講義と史料解説を行う。日本の近代化に関する理解を深め、史料を活用する能力を養う。		
授業到達目標/Course goals	1) 日本の近代化における歴史的流れを理解し、説明できる。 2) 史料を解説し、活用することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents of the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業での提出物50%、小テスト50%で評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習(2時間): 授業内容について、参考文献等を活用して理解を深めておく。 事後学習(2時間): 授業で出された課題を行う。		
キーワード/Keywords	日本近代史、明治維新史、近代化、産業革命		
教科書・教材・参考書/Materials	資料を配布する。教科書は使用しない。参考文献等は授業の中で紹介する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	日本近代史に関心を持ち、主体的に取り組むことができること。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考(URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	日本の近代化について、当時の史料から読み解いてみましょう。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	田口由香 / 令和2年長崎大学教育学部附属学校園における実地指導研修実施
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	オリエンテーション・グループ分け
2	「漢語」について
3	江戸・明治期の漢文学について(講義)
4	自分の専門分野の「『漢語』なき世界」について考えよう
5	グループ調べ活動
6	ジグソー活動で発表・課題持ち帰り
7	グループ調べ活動
8	グループ発表・振り返り
9	日本の近代化とは(産業革命)
10	欧米諸国のアジア進出
11	長州藩の攘夷とは(外国船砲撃と密航留学)
12	イギリスから見た下関戦争
13	グループ調べ活動
14	グループ調べ活動
15	グループ発表・振り返り

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2022/11/28 ~ 2023/02/03		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220586020101	科目番号 / Course code	05860201
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 12521_005		
授業科目名 / Course title	B4自然の科学 / Natural Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	工藤 哲洋 / Takahiro Kudoh		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	工藤 哲洋 / Takahiro Kudoh		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	工藤 哲洋 / Takahiro Kudoh		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kudoh nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部本館406号室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2329		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜の8時から8時30分 (事前に予約があると確実)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>教養としての天文学を学びます。天文学の具体的な課題を演習することで自然科学の方法を体験します。</p> <p>同日の1校時と2校時とを1セット(1回)とし、その日のテーマに対して講義と計算演習を行います。</p> <p>計算演習はパソコン(主にエクセル)を用います。第1回目から毎回の授業に、長大仕様のノートパソコンを持参してください。(コンセントの数が足りないので、事前に100%の充電をしておくこと。)</p> <p>計算演習は個人で行いますが、受講生同士でわからない事を尋ねあったり、わかっている事を教えあったりしながら行うことが推奨されます。演習を通して互いに理解を深め合い、全員が授業時間内にその日の目標を達成出来る事をめざします。</p> <p>計算演習の成果(得られたグラフや求めた数値)は各自でまとめ、授業中(締め切り:授業日内)に提出します。提出されたレポートはLACSを通して受講生同士で互いに閲覧可能にする予定です。</p> <p>-----</p> <p>今年度も、一部またはすべての授業がオンライン(録画・資料配信+課題提出)になる可能性があります。その場合でも内容の変更はない予定です。ただし、レポート提出の締め切りや成績の配点などが多少変更される可能性があります。事前の連絡に注意をお願いします。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>授業の導入部(最初の2回)では、次の内容が目標です。</p> <p>宇宙の広がりを理解し、宇宙の階層構造を説明することができる。</p> <p>そして、授業の本題として、次の二つを目指します。</p> <p>恒星や銀河までの距離を求める方法を理解し、データを用いて距離を計算することができる。 太陽系や宇宙の年齢を推定する方法を理解し、データを用いて年齢を計算することができる。</p> <p>宇宙の大きさや星までの距離は日常的な想像をはるかに超えた大きな値です。光の速さで数百万年とか数億年もかかる距離がどのようにして測られるのでしょうか?また、宇宙は約140億年前に、太陽系は約46億年前に誕生したと言われていて、どのようにしてそんな大昔に誕生したことがわかるのでしょうか?もちろん、それらを正確に求めるためには専門的な知識が必要です。しかし、その考え方を理解し、おおよその値を求めることは、教養の範囲で可能です。本授業では、その考え方を理解して、自分で距離や年齢を概算できるようになることが目標です。</p> <p>(分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につけている。)</p>		

知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	100点満点の総合点で60点以上を合格とします。内訳は以下の予定です。 講義内容の確認テスト = 5点/回x7回=35点 演習課題の提出 = 3点/回x7回=21点 演習に関する小テスト = 3点/回x7回=21点 振り返りの実力テスト = 23点/回x1回=23点 ただし、内訳の詳細は授業開始までに若干の変更があるかもしれません。授業初日に連絡します。
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	演習課題は授業日のうちにLACSに提出してください(1h)。 LACSの小テストや確認テストを期限内に行ってください(1h)。 LACSの資料や参考図書を参照して授業内容を復習してください(2h)。
キーワード/Keywords	宇宙, 銀河, 恒星, 太陽系
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用しません。 参考図書: 「すべての人の天文学」岡村定矩ら著 日本評論社 「宇宙創成(上下)」サイモン・シン著, 青木薫訳 新潮文庫 「算数でわかる天文学」ダニエル・フライシュ, ジュリア・クレグナウ著, 河辺哲次訳 岩波書店 「宇宙地球科学」佐藤文衛, 細川秀夫著, 講談社 「極・宇宙を解く」福江純, 沢武文, 高橋真聡編 恒星社厚生閣 「理系のためのExcelグラフ入門」金丸隆志著 講談社
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	パソコンを使った計算演習を行います。高校で習った sin, cos や、指数、対数(log)などを復習しておいてください。また、エクセルの基本的な使用方法を参考図書「理系のためのExcelグラフ入門」などを利用して予習しておいてください。 元来計算が苦手だったり嫌いな方にはつらい授業になるかもしれません。授業を選択する際には注意してください。計算が嫌いなのに抽選で仕方なく履修せざるえない方は、これを機会に計算を好きになれるとよいですね、ちなみに、私は好きです。それほど得意ではありませんが。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細/Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents

<p>第1週：2校時分</p>	<p>宇宙はどこまで広がっているか？ (宇宙の階層構造，惑星，恒星，銀河，銀河団，宇宙) [・確認テスト] 演習：PCソフトMi takaの使い方，宇宙の果てまで行って帰ってくる [・小テスト]</p>
<p>第2週：2校時分</p>	<p>空を見る時刻や季節によって見える星が違うのはなぜか？ (地球から見た宇宙，日周運動，年周運動，地動説と天動説) [・確認テスト] 演習：PCソフトMi takaの使い方，長崎市で見た星空 [・小テスト]</p>
<p>第3週：2校時分</p>	<p>恒星の距離はどのようにして測るのか？ (年周視差，距離の新しい単位：パーセク) [・確認テスト] 演習：エクセルの使い方，太陽の近くの恒星分布，宇宙にある星の数 [・小テスト]</p>
<p>第4週：2校時分</p>	<p>アンドロメダ銀河の距離はどのようにして測るのか？ (距離と明るさ，明るさの指標：等級，変光星) [・確認テスト] 演習：銀河系の隣にあるアンドロメダ銀河までの距離，銀河の衝突 [・小テスト]</p>
<p>第5週：2校時分</p>	<p>恒星の大きさはどのようにしてわかるのか？ (明るさと色，熱いものから出る光：黒体放射) [・確認テスト] 演習：色と明るさで星を分類(HR図)，主系列星，巨星，白色矮星 [・小テスト]</p>
<p>第6週：2校時分</p>	<p>宇宙に始まりがあったというのはどのようにしてわかるのか？ (遠くの銀河ほど速く遠ざかっている：ハッブル・ルメートルの法則) [・確認テスト] 演習：宇宙の膨張，遠くの銀河までの距離，宇宙の年齢 [・小テスト]</p>
<p>第7週：2校時分</p>	<p>太陽系の年齢はどのようにしてわかるのか？ (太陽系の誕生と隕石，放射性壊変と時間) [・確認テスト] 演習：隕石の年代測定 [・小テスト]</p>
<p>第8週：1校時分</p>	<p>まとめと振り返り [・実力テスト]</p>

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2022/11/24		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20220586035901	科目番号 / Course code	05860359
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	B5ことばの世界(2020年度以前入学生用) / World of Words		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto, 中村 典生 / Norio Nakamura, 倉田 伸 / Shin Kurata		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto, 中村 典生 / Norio Nakamura, 倉田 伸 / Shin Kurata		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	松元浩一(ファシリテーター) kmat_nagasaki-u.ac.jp 中村典生 nakn_nagasaki-u.ac.jp 倉田伸 shin1222kurata_nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	松元浩一 教育学部本館6階 617号室 中村典生 教育学部本館5階 515号室 倉田伸 教育学部本館5階 509号室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 12:00-12:50、14:20-14:30		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>英語や日本語を初めとする「ことば」を題材にし、インターネットやロボット等と人が共存する情報化社会を作り出すプログラミング言語も題材にしながら、現代に生きる人間の諸活動の問題をことばと情報の観点から考察する。</p> <p>社会を取り巻く環境の大きな変化により「ことば」の教育、とりわけ外国語の教育が大きく変わろうとしている。手紙や電話とは異なり、スマホやICT機器等の発達により、「ことば」の伝達方法やコミュニケーションの様態も劇的に変化している。こうしたなかで、日本語や英語によるコミュニケーションの在り方、表現し働きかける力、他者と係る力をどのように身につけ、学ばばよいかを日本における今日の教育とも関連づけて考察する。また、長崎は16世紀から外国語を取り入れる窓口となって日常的に外来の言葉と融和してきた。「長崎人」が外来語と接するなかでどのように自らを表現し他者に働きかけ、他者と係る力を身につけたのかを可能な限り探りたい。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>(1) 自らが受けてきた「ことば」の教育を振り返り、省察し、発表することができる。(対応するDP: 自ら学び、考え、主張し、行動することができる。)</p> <p>(2) 日本における「ことば」の教育や外国語教育の方向性を理解したうえで、日本語や英語によるコミュニケーションの在り方、表現し働きかける力、他者と係る力をどのように身につけるとよいかを批判的に、自律的に表現できる。(対応するDP: 分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につけている。)</p> <p>(3) 古くから長崎の先人が接してきた外来語との関わりをもとに、日本語や外国語によるコミュニケーションの在り方に新たな視点を見つけ出すことができる。(対応するDP: 分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につけている。)</p> <p>(4) 情報化社会に対応した表現方法で、プログラミング言語等を用いて、これまでに学んだ長崎の文化を発信することができる。(対応するDP: 自ら学び、考え、主張し、行動することができる。)</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・課題小テスト (25%) ・ショートエッセイ (25%) ・授業への積極的な関わり (授業時の発表用課題の予習を含む) (25%) ・課題レポート (25%)
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	毎回の予習、復習として、授業ごとに調べ学習等の課題が提示されるので指示に従って準備すること (LACSによる課題提示等も行われる予定です。詳細は授業時にお知らせします。) ・事前学習として、授業で示された課題の下調べとそのまとめ (2h) ・事後学習として、当該授業で学んだことのミニレポート等の作成 (2h)
キーワード/Keywords	日・英語、外国語活動、ICT機器活用、マークアップ言語、プログラミング言語、長崎県
教科書・教材・参考書/Materials	授業時に、予め準備した資料を提示したり、必要なものを準備するよう適宜指示する。
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	グループ討論では、全員が積極的に議論をリードしていくことを期待しています。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents
1回目-5回目	松元担当。前半では、座学で日本語と英語の特性について基本的な知識を学び小テストを行う。後半では、長崎の歴史と英語との関わりについて、ペアやグループによるディスカッションや意見交換を通じて考察する。最後に、コミュニケーションの在り方等に関わるショートエッセイを課す。
6回目-10回目	倉田担当。これまでに学んだ長崎の文化を、インターネットを用いて発信できるようになるために、マークアップ言語やプログラミング言語の「ことば」の基本を学び、それらを用いてWebコンテンツを作る。最後に作ったWebコンテンツを相互評価し、様々な表現方法を知ることに加え、客観的に自己の表現について省察する。
11回目-15回目	中村担当。第1回から第10回までの内容を念頭において、自らが受けてきた日本語や英語の教育も振り返りながら、歴史的に「長崎人」が外来語と接するなかでどのように自らを表現し他者に働きかけ、日常的に外来の言葉と融和してきたかを調べ、それをもとにグループごとに意見交換を行う。

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2022/11/24		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220592002501	科目番号 / Course code	05920025
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	B5ことばの世界 / World of Words		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto, 中村 典生 / Norio Nakamura, 倉田 伸 / Shin Kurata		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto, 中村 典生 / Norio Nakamura, 倉田 伸 / Shin Kurata		
科目分類 / Course Category	教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	松元浩一 (ファシリテーター) kmat_nagasaki-u.ac.jp 中村典生 nakn_nagasaki-u.ac.jp 倉田 伸 shin1222kurata_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	松元浩一 教育学部本館6階 617号室 中村典生 教育学部本館5階 515号室 倉田 伸 教育学部本館5階 509号室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 12:00-12:50、14:20-14:30		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>英語や日本語を初めとする「ことば」を題材にし、インターネットやロボット等と人が共存する情報化社会を作り出すプログラミング言語も題材にしながら、現代に生きる人間の諸活動の問題をことばと情報の観点から考察する。</p> <p>社会を取り巻く環境の大きな変化により「ことば」の教育、とりわけ外国語の教育が大きく変わろうとしている。手紙や電話とは異なり、スマホやICT機器等の発達により、「ことば」の伝達方法やコミュニケーションの様態も劇的に変化している。</p> <p>こうしたなかで、日本語や英語によるコミュニケーションの在り方、表現し働きかける力、他者と係る力をどのように身につけ、学べばよいかを日本における今日の教育とも関連づけて考察する。</p> <p>また、長崎は16世紀から外国語を取り入れる窓口となって日常的に外来の言葉と融和してきた。「長崎人」が外来語と接するなかでどのように自らを表現し他者に働きかけ、他者と係る力を身につけたのかを可能な限り探りたい。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>(1) 自らが受けてきた「ことば」の教育を振り返り、省察し、発表することができる。(対応するDP: 自ら学び, 考え, 主張し, 行動することができる。)</p> <p>(2) 日本における「ことば」の教育や外国語教育の方向性を理解したうえで、日本語や英語によるコミュニケーションの在り方、表現し働きかける力、他者と係る力をどのように身につけるとよいかを批判的に、自律的に表現できる。(対応するDP: 分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につけている。)</p> <p>(3) 古くから長崎の先人が接してきた外来語との関わりをもとに、日本語や外国語によるコミュニケーションの在り方に新たな視点を見つけ出すことができる。(対応するDP: 分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につけている。)</p> <p>(4) 情報化社会に対応した表現方法で、プログラミング言語等を用いて、これまでに学んだ長崎の文化を発信することができる。(対応するDP: 自ら学び, 考え, 主張し, 行動することができる。)</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・課題小テスト (25%) ・ショートエッセイ (25%) ・授業への積極的な関わり (授業時の発表用課題の予習を含む) (25%) ・課題レポート (25%)
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	毎回の予習、復習の内容が授業ごとに提示されるので、指示に従って準備すること (LACSによる課題提示等も行われる予定です。詳細は授業時にお知らせします。) ・事前学習として、授業のなかで指示された課題の下調べとそのまとめ (2h) ・事後学習として、授業で学んだことをもとにミニレポートやショートエッセイ等の作成 (2h)
キーワード/Keywords	日・英語、外国語活動、ICT機器活用、マークアップ言語、プログラミング言語、長崎県の歴史
教科書・教材・参考書/Materials	授業で用いる資料は、教員が授業時に提示したり配布したりするが、ほかに必要なものは適宜準備するようその都度指示する。
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	グループ討論では、全員が自らの下調べをもとに積極的に議論をリードしていくことを期待しています。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents
1回目-5回目	松元担当。前半では、座学で日本語と英語の特性について基本的な知識を学び小テストを行う。後半では、長崎の歴史と英語との関わりについて、ペアやグループによるディスカッションや意見交換を通じて考察する。最後に、コミュニケーションの在り方等に関わるショートエッセイを課す。
6回目-10回目	倉田担当。これまでに学んだ長崎の文化を、インターネットを用いて発信できるようになるために、マークアップ言語やプログラミング言語の「ことば」の基本を学び、それらを用いてWebコンテンツを作る。最後に作ったWebコンテンツを相互評価し、様々な表現方法を知ることに加え、客観的に自己の表現について省察する。
11回目-15回目	中村担当。第1回から第10回までの内容を念頭において、自らが受けてきた日本語や英語の教育も振り返りながら、歴史的に「長崎人」が外来語と接するなかでどのように自らを表現し他者に働きかけ、日常的に外来の言葉と融和してきたかを調べ、それをもとにグループごとに意見交換を行う。

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2022/11/28 ~ 2023/02/02		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220592002701	科目番号 / Course code	05920027
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	B5音楽 / Music		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	宮下 茂 / Miyashita Shigeru, 松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	宮下 茂 / Miyashita Shigeru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	宮下 茂 / Miyashita Shigeru		
科目分類 / Course Category	教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[教育]音楽棟2F1番教室		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	miyamo nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部 音楽棟2F 204		
担当教員TEL/Tel	819-2345		
担当教員オフィスアワー/Office hours	・メールによる質問等はmiyamo nagasaki-u.ac.jpまで。 ・対面による質問等は研究室前掲示参照		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	芸術の理解、表現方法、音楽分野に関心のある学生に対し、声楽曲の鑑賞と実技により、深い知識や研究態度を身につけることを目的とする。		
授業到達目標/Course goals	声楽曲やオペラ作品等を取り上げ、歴史や風土との関りを知り、音楽作品を鑑賞し、芸術への理解を深められるようになる。発声の仕組みを知り、自分の声を活かして、歌唱や音読で表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	各回提出の授業レポート(10点×15回=150点を100点に換算)の評価(100%)。合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	予習 インターネット(YouTube等)を活用して、授業テーマに関わる音楽や動画を視聴すること。また、インターネットを活用して、講義内容にかかわる情報検索を行うこと。(2h) 復習 授業内容の理解度を確認するために課題レポートの提出を求めます。課題レポートの作成に向けての復習をすることを求めます。(2h)		
キーワード / Keywords	声楽、日本歌曲、唱歌・童謡、ドイツ歌曲、オペラ、発声、歌唱		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業計画に沿い、PowerPointスライドまたは資料(実技実践授業のみ)を配布する。音楽の視聴はCD、DVD、生演奏(歌唱とピアノ伴奏)を活用する(実技実践授業のみ)。参考:歌唱芸術(白水社)、ドイツ歌曲の歴史(音楽之友社)、3日でわかるクラシック音楽(ダイヤモンド社)、もう一度学びたいオペラ(西東社)、絶対!うまくなる合唱100のコツ(ヤマハミュージックメディア)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	教室の座席定員(音楽棟1番教室)が36名のため、最大受講者数を36名とする。定員を超えた場合は、Nu-Webでの電子抽選を使用し、教養教育掲示板に結果を公表する。(指導教員への直談判無効)		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業ではクラシック音楽を取り上げます。歌唱芸術への興味と関心が持てること、自分にとっての未知なる音楽を受け入れる柔らかな心を持って受講することを希望します。声楽実践や発声・音読では、一人で人前で独唱や発語する心構えが必要と思われます。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オンデマンド教材「心で感じるための知識について」～導入
第2回	実技実践（またはオンデマンド教材）「発声教室～ホール体験にむけて」「声楽の発声について～歌唱授業で教える『発声』とは?」「声楽の歌声について～声楽的に『良い声』『悪い声』とは?」
第3回	オンデマンド教材「春への憧れ」
第4回	実技実践（またはオンデマンド教材）「宮下茂の発声教室：理論編」
第5回	オンデマンド教材「日本の歌曲《日本の中の西洋音楽》の歴史」明治時代
第6回	実技実践（またはオンデマンド教材）「宮下茂の発声教室：実践編」
第7回	オンデマンド教材「日本の歌曲《日本の中の西洋音楽》の歴史」山田耕筰～大正時代
第8回	実技実践（またはオンデマンド教材）「宮下茂の発声教室：立ち方を考える」
第9回	オンデマンド教材「唱歌と童謡の歴史」
第10回	実技実践（またはオンデマンド教材）「宮下茂の発声教室：姿勢と呼吸の練習」
第11回	オンデマンド教材「ドイツ歌曲（ドイツ・リート）の歴史」
第12回	実技実践（またはオンデマンド教材）「宮下茂の発声教室：歌声の選び方（おどかず真似）」
第13回	オンデマンド教材「旋律の意味を考える」
第14回	実技実践（またはオンデマンド教材）「宮下茂の発声教室：今日は子どもたちと練習します」
第15回	オンデマンド教材「授業のまとめ」

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2022/11/24		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20220586036301	科目番号 / Course code	05860363
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	B6情報通信とコンピュータネットワークのしくみ(2020年度以前入学生用) / Computer Communications and Networks		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	柳生 大輔 / Yagyu Daisuke, 古賀 掲維 / Koga Aoi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	柳生 大輔 / Yagyu Daisuke		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	柳生 大輔 / Yagyu Daisuke		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟45 / RoomC-45		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医学部・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	d-yagyu_nagasaki-u.ac.jp (を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	ICT基盤センター 2F		
担当教員TEL/Tel	095-819-2220		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日16:00-17:30 / LACSのメッセージ機能, 電子メール等による質問等は随時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	コンピュータ・ネットワークの要素技術や規格・プロトコル等を知ることにより, コンピュータシステムや構成要素がどのような仕組みで稼働しているか, どのような工夫がなされているか, また, どのような性能や信頼性のもとに稼働しているかを理解する。また, 「長崎」の通信の歴史におけるかかわり, 離島・へき地における通信について学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	各回の内容に示す項目について理解し, 他者に説明できるようになることを目標とする (1, 3, 7, 10)。 たとえば, 本県のような離島・へき地を有する地域の通信環境に関する現況を説明でき, 関わる政策について, 自分なりの考えで論ずることができる (7, 10)。 なお, 本講義の直接の目標ではないが, ITパスポートや基本情報技術者試験のテクノロジ系科目の問題が解けるようになることを目指す (1, 3)。		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題・レポート計45点, 小テスト・定期試験計40点, 講義中の積極的な取組状況計15点を基礎として総合的に評価し, 100点満点のうち60点以上を合格とする。 課された課題を期限までに提出しない場合, 定期試験の得点に関係なく, 不合格となることがあるので注意すること。 原則として全回出席を前提とする。やむを得ず正当な理由で欠席した場合は欠席届を提出すること(事前の相談が望ましい)。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	毎回の授業後, 教員の指定することから・キーワードについて, 一定の限られた文字数(令和3年度の例では300字から400字の範囲)でまとめて提出する(3h)。また, 授業で習った内容をもとに, 教員が指定した項目や所有するデバイスに関して, 授業時間外に調べる課題を課す(1h)。		
キーワード/Keywords	情報通信, コンピュータネットワーク, コンピュータシステム, プロトコル, 信頼性, 長崎県		

教科書・教材・参考書/Materials	授業資料等についてはLACSに掲載する。ただし穴あきテキストであるので、各自でノートを取り、完成したテキストとしてまとめることが必要である。参考となる図書、Webページ等は随時紹介する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	全回出席を原則とする。必携PCを毎回使用する。対面授業の際は毎回教室に持参すること。 授業では各自のノートPCをそれぞれ利用します。準備・持参しない場合には現実的に授業に参加できません。初回授業からノートPCを使用します。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考（URL）/Remarks (URL)	本科目は、令和4年度をもってモジュールI科目としての開講を終了し、令和5年度から自由選択科目へ移行する予定となっています。
学生へのメッセージ/Message for students	いつも何気なく利用しているさまざまなネットワーク・機器に関して、どのような技術が用いられ、工夫がなされているかがわかります。これらの工夫は、そのシステムでのみ有効というものだけではありません。普段の生活の中でも応用できるものがあります。発想の転換のヒントになります。 「正解」とはなんなのでしょうか。辞書に書いてあることは確かに正解例の一つかも知れませんが、世の中は、多様な立場や、価値観・考えをもつ人がいます。利害関係が絡んでいることも少なくありません。社会の中では、どこかで落とし所を見つけて解を出すことが必要になることもあります。本科目では、受講者のみなさんの考えを出し合い共有するなどして、多くの考えに触れてもらいます。 なお、社会状況（COVID-19の影響を含む）や理解状況によって、各回の授業の進度の調整や順序、授業実施情報の変更等を行うことがあります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1-2回	【ガイダンス】 ・通信とは ・情報の伝送 ・有線通信と無線通信 - 電波が与える影響，無線通信に関する規制・制限 - 通信の歴史 - 「長崎」の通信の歴史におけるかかわり 【通信の形態】 を理解する - 一対一と一対多 - 通信と放送 - 全二重と半二重 - 上りと下り
第3-4回	【電磁波の性質】 を理解する ・電波の周波数とその特性 - 電磁波と電波 - 周波数と波長 - アンテナ - 周波数帯と特性，使われ方 - 無線LANの種類と特性，使い分け - デジタル化による電波の再利用 - 携帯電話における新たな技術 - 各自の所有端末が使用する周波数帯を調べる

<p>第5-6回</p>	<p>【インタフェースとコネクタ】を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタフェースとコネクタ - インタフェースとは - インタフェースを通じて送られるもの - コネクタの役割 - 医用コンセント，医用接地 - インタフェースやコネクタ，通信伝送路に求められること ・コンピュータや家電製品の外部インタフェース - 衛星4K・8K放送を視聴するために必要なもの - 各自の端末のインタフェースを理解する ・コンピュータのデータ転送用インタフェース - シリアル伝送とパラレル伝送 - 接続のトポロジ - 有線LANの規格と通信ケーブルの品質 - 無線LANの規格
<p>第7-8回</p>	<p>【通信回線の構造】を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回線の種類と交換方式 - 回線交換 - 長崎県の電話交換の歴史 - 電話を「かける」とは - 専用回線と公衆回線 - パケット交換 - PSTNの終焉 ・多重化 <p>【ネットワークアーキテクチャ】を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロトコルと階層 - プロトコルとは - 階層構造の意味 - OSI基本参照モデル - Internet Protocol Suite ・コンピュータ通信の具体例を見る - Webや電子メールのやりとりを例に
<p>第9-10回</p>	<p>【ネットワーク（第1層～第2層）】を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・網トポロジ ・アクセス制御方式 - 衝突検知 ・イーサネット ・MACアドレス ・MACアドレスをトレースすると ・ネットワークを構成する装置（第1層～第3層） - コリジョンドメインとブロードキャストドメイン <p>【ルーティング（第3層）】を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネット - Internet Protocol
<p>第11-12回</p>	<p>【電話の公共性，離島・へき地における通信の現状】を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話の公共性 - 番号計画 - 通話料金と単位料金区域 - ユニバーサルサービス - 離島特例，離島特例に見る長崎県の地域と交流関係 - 離島・へき地における通話・通信環境 <p>【ルーティング（第3層）】を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・IPアドレス - IPv4とその割り当て - サブネットティング ・IPv4アドレスの枯渇とその対策 - IPv6 - グローバルアドレスとプライベートアドレス - アドレス変換 ・ルーティング - ARP - 経路情報とルーティング - 電話のネットワークにおけるルーティング ・DHCP

<p>第13-14回</p>	<p>【ネットワーク・通信の信頼性〔第4層〕】を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通信の信頼性 - コネクション型とコネクションレス型 - ポート番号 <p>【誤り検出・誤り訂正】を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誤り検出・誤り訂正 - 正しく伝える工夫 - 誤りに対する耐性 - パリティチェック, CRC, チェックディジット <p>【アプリケーション〔第5層～第7層〕】を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Domain Name System - ホスト名とドメイン - ナンバーポータビリティ - 名前解決に見るインターネットの信頼性 ・アプリケーションのふるまい〔第4層～第7層〕を理解する - Webアクセスや電子メールを例に ・ネットワークセキュリティ - ファイアウォール, パケットフィルタ, アプリケーションゲートウェイ - 守られる範囲 - 無線LANのセキュリティ
<p>第15回</p>	<p>【コンピュータシステムの構成と信頼性】を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータシステムの処理形態 - 集中処理と分散処理 - サーバ・クライアントモデル - クラスタ - クラウド ・コンピュータシステムの信頼性 - 冗長化 - 信頼性の評価指標 - 故障曲線 - 信頼性を高める工夫 - フォールトトレラント ・記憶の信頼性 - コンピュータの5大装置 - 半導体メモリの種類 - 補助記憶装置の種類 - USBメモリやディスクの記憶の信頼性 - データのバックアップ
<p>第16回</p>	<p>【定期試験】</p>

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2022/11/28 ~ 2023/02/02		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20220586036501	科目番号 / Course code	05860365
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	B6プログラミング入門(2020年度以前入学生用) / Introduction to Programming		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古賀 掲維 / Koga Aoi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	古賀 掲維 / Koga Aoi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	古賀 掲維 / Koga Aoi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟45 / RoomC-45		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	aoikoga ms.cc.nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	ICT基盤センター2F		
担当教員TEL/Tel	095-819-2097		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日3校時(12:50~14:20)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本授業の目的は、プログラミング的な思考力を養うことである。本授業では、プログラミング言語としてPythonを取り上げ、プログラミングの基礎やアルゴリズムについて学ぶ。また、Pythonを用いた画像認識AIの作成にも挑戦する。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・Pythonの基本的な文法を理解する。 ・簡単なアルゴリズムに基づきプログラムを作成できる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above プログラミング F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業中課題及び小テスト：60%， 期末試験(または課題)：40%， を予定している。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	【第1回】予習：特になし、復習：プログラミング環境の準備を完了させる(4時間) 【第2~14回】予習：指定された内容の学習(各回2時間)、復習：プログラムの作成(各回2時間) 【第15回】予習：プレゼン資料の作成(4時間)		
キーワード/Keywords	プログラミング, アルゴリズム, AI(人工知能)		
教科書・教材・参考書/Materials	LACS上で提供		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	ノートパソコンを持参してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス / プログラミング環境の準備
第2回	プログラミングの基礎
第3回	Python入門(1)
第4回	Python入門(2)
第5回	アルゴリズム入門(1)
第6回	アルゴリズム入門(2)
第7回	AI入門(1)
第8回	AI入門(2)
第9回	画像分類AIの作成(1)
第10回	画像分類AIの作成(2)
第11回	画像分類AIの作成(3)
第12回	画像分類AIの作成(4)
第13回	画像分類AIの作成(5)
第14回	画像分類AIの作成(6)
第15回	プレゼンテーション / まとめ

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2022/11/24		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220592002901	科目番号 / Course code	05920029
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	B6情報通信とコンピュータネットワークのしくみ / Computer Communications and Networks		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	柳生 大輔 / Yagyu Daisuke, 古賀 掲維 / Koga Aoi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	柳生 大輔 / Yagyu Daisuke		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	柳生 大輔 / Yagyu Daisuke		
科目分類 / Course Category	教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟45 / RoomC-45		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	d-yagyu nagasaki-u.ac.jp (を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	ICT基盤センター 2F		
担当教員TEL/Tel	095-819-2220		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日16:00-17:30 / LACSのメッセージ機能, 電子メール等による質問等は随時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	コンピュータ・ネットワークの要素技術や規格・プロトコル等を知ることにより, コンピュータシステムや構成要素がどのような仕組みで稼働しているか, どのような工夫がなされているか, また, どのような性能や信頼性のもとに稼働しているかを理解する. また, 「長崎」の通信の歴史におけるかかわり, 離島・へき地における通信について学ぶ.		
授業到達目標/Course goals	各回の内容に示す項目について理解し, 他者に説明できるようになることを目標とする (1, 3, 7, 10). たとえば, 本県のような離島・へき地を有する地域の通信環境に関する現況を説明でき, 関わる政策について, 自分なりの考えで論ずることができる (7, 10). なお, 本講義の直接の目標ではないが, ITパスポートや基本情報技術者試験のテクノロジー系科目の問題が解けるようになることを目指す (1, 3).		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題・レポート計45点, 小テスト・定期試験計40点, 講義中の積極的な取組状況計15点を基礎として総合的に評価し, 100点満点のうち60点以上を合格とする. 課された課題を期限までに提出しない場合, 定期試験の得点に関係なく, 不合格となることがあるので注意すること. 原則として全回出席を前提とする. やむを得ず正当な理由で欠席した場合は欠席届を提出すること (事前の相談が望ましい).		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	毎回の授業後, 教員の指定することがら・キーワードについて, 一定の限られた文字数 (令和3年度の例では300字から400字の範囲) でまとめて提出する (3h). また, 授業で習った内容をもとに, 教員が指定した項目や所有するデバイスに関して, 授業時間外に調べる課題を課す (1h).		
キーワード/Keywords	情報通信, コンピュータネットワーク, コンピュータシステム, プロトコル, 信頼性, 長崎県		

教科書・教材・参考書/Materials	授業資料等についてはLACSに掲載する。ただし穴あきテキストであるので、各自でノートを取り、完成したテキストとしてまとめることが必要である。参考となる図書、Webページ等は随時紹介する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	全回出席を原則とする。必携PCを毎回使用する。対面授業の際は毎回教室に持参すること。 授業では各自のノートPCをそれぞれ利用します。準備・持参しない場合には現実的に授業に参加できません。初回授業からノートPCを使用します。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考（URL）/Remarks (URL)	本科目は、令和4年度をもってモジュールI科目としての開講を終了し、令和5年度から自由選択科目へ移行する予定となっています。
学生へのメッセージ/Message for students	いつも何気なく利用しているさまざまなネットワーク・機器に関して、どのような技術が用いられ、工夫がなされているかがわかります。これらの工夫は、そのシステムでのみ有効というものだけではありません。普段の生活の中でも応用できるものがあります。発想の転換のヒントになります。 「正解」とはなんのでしょうか。辞書に書いてあることは確かに正解例の一つかも知れませんが、世の中は、多様な立場や、価値観・考えをもつ人がいます。利害関係が絡んでいることも少なくありません。社会の中では、どこかで落とし所を見つけて解を出すことが必要になることもあります。本科目では、受講者のみなさんの考えを出し合い共有するなどして、多くの考えに触れてもらいます。 なお、社会状況（COVID-19の影響を含む）や理解状況によって、各回の授業の進度の調整や順序、授業実施情報の変更等を行うことがあります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1-2回	<p>【ガイダンス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通信とは ・情報の伝送 ・有線通信と無線通信 - 電波が与える影響，無線通信に関する規制・制限 - 通信の歴史 - 「長崎」の通信の歴史におけるかかわり <p>【通信の形態】を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> - 一対一と一対多 - 通信と放送 - 全二重と半二重 - 上りと下り
第3-4回	<p>【電磁波の性質】を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電波の周波数とその特性 - 電磁波と電波 - 周波数と波長 - アンテナ - 周波数帯と特性，使われ方 - 無線LANの種類と特性，使い分け - デジタル化による電波の再利用 - 携帯電話における新たな技術 - 各自の所有端末が使用する周波数帯を調べる

<p>第5-6回</p>	<p>【インタフェースとコネクタ】を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタフェースとコネクタ - インタフェースとは - インタフェースを通じて送られるもの - コネクタの役割 - 医用コンセント，医用接地 - インタフェースやコネクタ，通信伝送路に求められること ・コンピュータや家電製品の外部インタフェース - 衛星4K・8K放送を視聴するために必要なもの - 各自の端末のインタフェースを理解する ・コンピュータのデータ転送用インタフェース - シリアル伝送とパラレル伝送 - 接続のトポロジ - 有線LANの規格と通信ケーブルの品質 - 無線LANの規格
<p>第7-8回</p>	<p>【通信回線の構造】を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回線の種類と交換方式 - 回線交換 - 長崎県の電話交換の歴史 - 電話を「かける」とは - 専用回線と公衆回線 - パケット交換 - PSTNの終焉 ・多重化 <p>【ネットワークアーキテクチャ】を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロトコルと階層 - プロトコルとは - 階層構造の意味 - OSI基本参照モデル - Internet Protocol Suite ・コンピュータ通信の具体例を見る - Webや電子メールのやりとりを例に
<p>第9-10回</p>	<p>【ネットワーク（第1層～第2層）】を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・網トポロジ ・アクセス制御方式 - 衝突検知 ・イーサネット ・MACアドレス ・MACアドレスをトレースすると ・ネットワークを構成する装置（第1層～第3層） - コリジョンドメインとブロードキャストドメイン <p>【ルーティング（第3層）】を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネット - Internet Protocol
<p>第11-12回</p>	<p>【電話の公共性，離島・へき地における通信の現状】を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話の公共性 - 番号計画 - 通話料金と単位料金区域 - ユニバーサルサービス - 離島特例，離島特例に見る長崎県の地域と交流関係 - 離島・へき地における通話・通信環境 <p>【ルーティング（第3層）】を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・IPアドレス - IPv4とその割り当て - サブネットイング ・IPv4アドレスの枯渇とその対策 - IPv6 - グローバルアドレスとプライベートアドレス - アドレス変換 ・ルーティング - ARP - 経路情報とルーティング - 電話のネットワークにおけるルーティング ・DHCP

<p>第13-14回</p>	<p>【ネットワーク・通信の信頼性〔第4層〕】を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通信の信頼性 - コネクション型とコネクションレス型 - ポート番号 <p>【誤り検出・誤り訂正】を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誤り検出・誤り訂正 - 正しく伝える工夫 - 誤りに対する耐性 - パリティチェック, CRC, チェックディジット <p>【アプリケーション〔第5層～第7層〕】を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Domain Name System - ホスト名とドメイン - ナンバーポータビリティ - 名前解決に見るインターネットの信頼性 ・アプリケーションのふるまい〔第4層～第7層〕を理解する - Webアクセスや電子メールを例に ・ネットワークセキュリティ - ファイアウォール, パケットフィルタ, アプリケーションゲートウェイ - 守られる範囲 - 無線LANのセキュリティ
<p>第15回</p>	<p>【コンピュータシステムの構成と信頼性】を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータシステムの処理形態 - 集中処理と分散処理 - サーバ・クライアントモデル - クラスタ - クラウド ・コンピュータシステムの信頼性 - 冗長化 - 信頼性の評価指標 - 故障曲線 - 信頼性を高める工夫 - フォールトトレラント ・記憶の信頼性 - コンピュータの5大装置 - 半導体メモリの種類 - 補助記憶装置の種類 - USBメモリやディスクの記憶の信頼性 - データのバックアップ
<p>第16回</p>	<p>【定期試験】</p>

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2022/11/28 ~ 2023/02/02		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220592003101	科目番号 / Course code	05920031
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	B6プログラミング入門 / Introduction to Programming		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古賀 掲維 / Koga Aoi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	古賀 掲維 / Koga Aoi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	古賀 掲維 / Koga Aoi		
科目分類 / Course Category	教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟45 / RoomC-45		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	aoikoga ms.cc.nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	ICT基盤センター2F		
担当教員TEL/Tel	095-819-2097		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日3校時(12:50 ~ 14:20)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本授業の目的は、プログラミング的な思考力を養うことである。本授業では、プログラミング言語としてPythonを取り上げ、プログラミングの基礎やアルゴリズムについて学ぶ。また、Pythonを用いた画像認識AIの作成にも挑戦する。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・ Pythonの基本的な文法を理解する。 ・ 簡単なアルゴリズムに基づきプログラムを作成できる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above プログラミング F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業中課題及び小テスト : 60% , 期末試験(または課題) : 40% , を予定している。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	【第1回】予習：特になし、復習：プログラミング環境の準備を完了させる (4時間) 【第2~14回】予習：指定された内容の学習 (各回2時間)、復習：プログラムの作成 (各回2時間) 【第15回】予習：プレゼン資料の作成 (4時間)		
キーワード/Keywords	プログラミング, アルゴリズム, AI(人工知能)		
教科書・教材・参考書/Materials	LACS上で提供		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	ノートパソコンを持参してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス / プログラミング環境の準備
第2回	プログラミングの基礎
第3回	Python入門(1)
第4回	Python入門(2)
第5回	アルゴリズム入門(1)
第6回	アルゴリズム入門(2)
第7回	AI入門(1)
第8回	AI入門(2)
第9回	画像分類AIの作成(1)
第10回	画像分類AIの作成(2)
第11回	画像分類AIの作成(3)
第12回	画像分類AIの作成(4)
第13回	画像分類AIの作成(5)
第14回	画像分類AIの作成(6)
第15回	プレゼンテーション / まとめ

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2022/11/28 ~ 2023/02/02		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220592006502	科目番号 / Course code	05920065
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	B7Introduction to International Development / Introduction to International Development		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	青木 恒憲 / aoki tsunenori, 清田 智子 / KIYOTA Tomoko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	青木 恒憲 / aoki tsunenori		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	青木 恒憲 / aoki tsunenori		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医 (医・保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	aoki.tsunenori.nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は、 を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	坂本キャンパス 熱帯医学・グローバルヘルス研究科 グローバルヘルス総合研究棟5階507号室		
担当教員TEL/Tel	095-819-7895 (直通)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜から金曜まで 10時から16時まで 面談予約や質問はaoki.tsunenori@nagasaki-u.ac.jp宛とし、件名に学部名と氏名を入れて下さい。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>地球には78億人が暮らし、様々な問題と限界に直面しています。新型コロナウイルスなどの感染症の脅威、経済の停滞、環境の汚染などの問題は国境を越え、遠い国の出来事ではありません。そして人口の8割は開発途上国に暮らし、一層厳しい現実と直面しています。</p> <p>相互作用する世界で開発途上国について考えることは今日の我々にとって重要な問いです。開発途上国では何が、なぜ問題になっているのでしょうか。国際社会はなぜ、何に、どのように対処しようとしているのでしょうか。</p> <p>本科目は国際協力における開発援助の主要な概念、課題、仕組み、アクター、歴史、事例に関する基礎的知識を身につけ、開発途上国に対する国際協力について自分の考えを説明出来るようになることを目指します。</p>		
授業到達目標/Course goals	国際協力における開発援助の主要な概念、課題、仕組み、アクター、歴史、事例に関する基礎的知識を身につけ、開発途上国に対する国際協力について自分の意見を説明出来るようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>1. 課題 30点</p> <p>2. 最終課題 70点</p> <p>自分から意見や質問を多々発し授業に貢献した者にはこれら課題の総得点に10点まで加点します。総合点(100点) 60点以上を合格とします。</p>		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<p>1. 事前: シラバスや講義資料を見て次の授業の流れを把握する。分からない用語や疑問点を調べる。質問等を用意する。(1h)</p> <p>2. 事後: 講義内容及び講義資料、参考文献等をもとに復習する。疑問点あれば調べ、要すれば教員に確認する。課題がある場合は、取り組み、指定された授業で提出する。開発援助についての自身の考えを順次検討、まとめていく。(1h)</p>		

キーワード/Keywords	SDGs、国際協力、開発援助、政府開発援助（ODA）、国連、世界銀行、WHO、UNICEF、JICA、貧困、難民、ジェンダー、教育、保健医療、経済、環境、アジア、アフリカ、中東、欧州、中南米、国際政治、ナショナリズム、多様性、ボランティア、民間連携、新型コロナウイルス感染症
教科書・教材・参考書/Materials	教科書はありません。授業を通じて参考書籍等を紹介しします。 【全般的な参考資料】 開発協力白書 日本の国際協力 外務省ウェブサイトからダウンロード可能 国際協力機構年報 国際協力機構（JICA）ウェブサイトからダウンロード可能
受講要件（履修条件）/Prerequisites	1. 予め履修すべき科目はありません。 2. 授業中に発言する。 授業中に意見を述べたり、質問することは、自身の考えを磨く、疑問を解決する、他者の考えに耳を傾ける、他の受講生が共に学ぶ貴重な機会です。発言しない＝授業や他学生に貢献する意思がないとも言えるでしょう。本科目の授業では意見や質問を求め、また当てます。発言したくない、当てられるのが嫌であれば、受講は勧めません。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	1. 授業の特徴：担当教員の実務経験を活かした理論と実務（実際）に基づく講義です。写真や動画、国際協力の事例の紹介やゲストスピーカーを迎え、生きた授業を心がけます。 2. 授業の形態：担当教員及びゲストスピーカーによる講義です。新型コロナウイルス感染症流行対応で方法が変わる可能性があります。 3. 授業の流れ：冒頭に前回授業の復習、学習の目標の提示、続いて講義（質疑含む）、最後に要点や授業の位置づけの再確認、次回の予告（あれば課題指示）をします。LACSに講義資料を掲示します。 4. 意見や質問：授業中の意見や質問を歓迎します。終了時の教室でも時間の限り受け付けます。「こんなことを聞いてもいいのかな」「分からなかった」といったことも遠慮せずに聞いて下さい。 5. 授業の進行：受講人数、進行具合、ゲストスピーカーの日程の都合により、授業の順番を変更する可能性があります。 6. 課題：剽窃、不正が認められた場合は該当箇所の評価をゼロとします。
学生へのメッセージ/Message for students	シラバスの内容に少しでも面白そうだとところがあったら、ぜひ受講してみてください。皆さんの受講を歓迎します。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	青木恒憲（本授業担当教員）/ 20年に亘り、日本政府の国際協力の実施機関である独立行政法人国際協力機構（JICA）で国際協力の実務に従事。アジア・大洋州、中東・欧州、アフリカ、中南米の保健医療分野のプロジェクトマネジメント、世界銀行、ビル&メリンダ・ゲイツ財団等とのグローバルパートナーシップ、民間企業や大学との連携を担当。保健医療専門家として2003年から2005年までミャンマーに保健医療プログラム企画調査員、2014年から2017年までガーナ保健サービスに地域保健政策アドバイザーとして駐在。現場調査・国際会議等で25カ国に滞在。/ 実務経験の紹介を交えながら本授業を担当する。 ゲストスピーカー / 国際協力の実務経験者 / 実務経験の紹介を行う。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回(1校時)	Introduction to the Course
第2回(2校時)	Development issues in developing countries
第3回(1校時)	Development issues in developing countries
第4回(2校時)	Development issues in developing countries
第5回(1校時)	Frameworks of development assistance
第6回(2校時)	History of strategies of development
第7回(1校時)	Japan's official development assistance
第8回(2校時)	Japan's official development assistance
第9回(1校時)	Japan's official development assistance
第10回(2校時)	Participation in international cooperation
第11回(1校時)	Guest speaker
第12回(2校時)	Guest speaker
第13回(1校時)	Guest speaker
第14回(2校時)	Future of development assistance

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2022/11/25		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220592006701	科目番号 / Course code	05920067
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	B7Japan's Foreign and National Security Policy / Japan's Foreign and National Security		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	清田 智子 / KIYOTA Tomoko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	清田 智子 / KIYOTA Tomoko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	清田 智子 / KIYOTA Tomoko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	First year		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tomokokiyota nagasaki-u.ac.jp (@)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟 (言語教育研究センター) 2階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2454		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Thursday 14:00-15:00 or make an appointment at your preferred date and time.		

<p>授業の概要及び位置づけ/Course overview</p>	<p>Is the world today in a bipolar or a multipolar order? This question remains debatable. One thing for sure, we are witnessing a transitional period that deepens uncertainty. While rivalry between Washington and Beijing is shaping a new world order, Moscow is still challenging for the superpower status. It is also said the 21st century is the "Asian Century" or the "Pacific Century," but Europe is still a battle field of power politics.</p> <p>In the age of uncertainty, Japan also faces various unprecedented challenges as well as traditional difficulties. It is located in the Northeast Asia with three nuclear-weapon states, including Russia, China and North Korea, where history also continues to plague the relations among nations. While the importance of the Japan Self Defense Forces (JSDF) and the Japan-US alliance have risen due to a series of incidents that destabilize the region, successive administrations have dithered over the amendment of the Japanese constitution. Such government indecision often spoils Japanese national interests. On the other hand, however, we must admit that some of the problems do not have easy solutions or answers. Failed decisions could cause damage the relationships with other countries and arouse massive public oppositions. The governments face with dilemma when they make such important decisions from time to time.</p> <p>At the same time, we also must raise our voice before the governments reach their decisions. In the first place, what kind of voice should we raise? Do we have our own opinions and enough knowledge to judge the government decisions? Are our positions always correct and not biased? Are there any other options?</p> <p>In this context, this series of lecture takes up several controversial issues that relate to Japan's foreign and national security policy and discuss how we should deal with them. It covers a wide range of topics including traditional security such as territorial disputes, arms race and sea lane defense as well as non-traditional security such as climate change, cybercrimes and food sustainability. It also discusses the difference between theory and practice of International Relations.</p> <p>In addition, this course will be full of opportunities to listen, speak, read, and write English, since the majority of the classmates could be non-native English speakers. Not only instructor's lectures, students will listen to the guest speakers' English as well as international news, Youtube and so on. All students must participate the discussions and express their opinions in English during the lectures. For preparation of the class, students are required to read news and write emails to the instructor about their findings and opinions in English weekly. Finally, students are required to write a 1000-words position paper as an assignment.</p> <p>(The extended syllabus and references are available at</p>
<p>授業到達目標/Course goals</p>	<p>The goals for students in this course are;</p> <p>(1) gain a deeper understanding of Japan's foreign and national security policy and the complex disputes in the region,</p> <p>(2) develop critical thinking,</p> <p>(3) gain confident in expressing one's opinions logically, and</p> <p>(4) write a position paper and make a presentation in English.</p>
<p>知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)</p>	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>
<p>学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking</p>	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers</p>
<p>成績評価の方法・基準等/Method of evaluation</p>	<p>Class Attendance and Participation (15 points), Preparation for the class (21 points), Position paper (40 points), and Presentation (24 points)</p>
<p>各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson</p>	<p>詳細は授業計画詳細を参照</p>

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	Course preparation: 2 hours Writing a position paper: 2 hours
キーワード/Keywords	
教科書・教材・参考書/Materials	佐藤史郎、川名晋史、上野友也、齋藤孝祐編、『日本外交の論点』（法律文化社、2018年）。 防衛大学校安全保障学研究会、『安全保障学入門』（できれば新訂第5版が望ましい）（亜紀書房、2018年）。 (I'll summarize the points of the books in English for those who do not read Japanese.) Ministry of Foreign Affairs (MOFA) of Japan, Diplomatic Bluebook (latest version), https://www.mofa.go.jp/policy/other/bluebook/index.html . (日本語版あり) Ministry of Japan (MOD), Defense of Japan (latest version), https://www.mod.go.jp/en/publ/w_paper/index.html . (日本語版あり)
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office. Student Accessibility Office contact information (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考（URL）/Remarks (URL)	The extended syllabus and references are available at https://padlet.com/tomokokiyota/3fn55jcf72wq9mcp . password: nagasakiuniversity
学生へのメッセージ/Message for students	- Students with different backgrounds and varying English level are expected to take this course and discuss on controversial issues together. Please treat your colleagues and different opinions with respect. - For non-native English speakers; this course will provide you a lots of opportunities to practice English. Listen to and read international news, speak up and write in English as many as possible. - For native English speakers; if you think this course is too easy for you, I'll give you Japanese assignments.
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	Dr. Kiyota is an Associate Professor at the Office for Global Relations, Nagasaki University. Earlier, she was a First Secretary at the Embassy of Japan in Thailand from April 2019 to April 2021, and an Official at Regional Policy Division, Asian and Oceanian Affairs Bureau, Ministry of Foreign Affairs from April 2017 to March 2019. She was also an Advisor/Researcher at the Embassy of Japan in India from February 2015 to February 2017. This series of lectures will take up very important issues that impact Japan's foreign and national security policy, based on her experiences in the field of diplomacy.
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1st (9/30 8:50-10:20)	Introduction, course overview, structure and contents of classes, references and resources, how to discuss about topics, etc.
2nd (9/30 10:30-12:00)	Diplomacy, national security environment surrounding Japan, decision-making process in Japan, roles of Prime Minister's Office (PMO), National Security Council (NSC), MOFA and MOD, National Security Strategy, Japanese strategic thoughts, etc.
3rd (10/7 8:50-10:20)	Article 9 of the Japanese Constitution, Japan Self Defense Force (JSDF), Japan-US Alliance, US Military Bases in Japan, right of collective self-defense, defense budget,
4th (10/7 10:30-12:00)	Free and Open Indo-Pacific (FOIP), Quadrilateral Security Dialogue (QUAD), etc.
5th (10/14 8:50-10:20)	Japanese territory, Senkaku Islands, Takeshima, Northern Territories, territorial disputes, United Nation Convention on the Law of the Sea, etc.
6th (10/14 10:30-12:00)	Taiwan, Sea Lanes of Communications (SLOC), South China Sea, etc.
7th (10/21 8:50-10:20)	North Korea, missile and nuclear development, missile defense, United Nations Security Council (NUSC), etc.
8th (10/21 10:30-12:00)	History, UNESCO World Heritage, Yasukuni, sorry states, etc.
9th (10/28 8:50-10:20)	ASEAN, Intervention in the domestic affairs, Myanmar, coup d'état, sanction, etc.
10th (10/28 10:30-12:00)	Refugee, human rights, immigration, etc.
11th (11/4 8:50-10:20)	COVID-19 pandemic, vaccine diplomacy, COVAXIN, WHO, etc.
12th (11/4 10:30-12:00)	Climate change, global warming, UN Framework Convention on Climate Change (UNFCCC), Conference of the Parties (COP), Kyoto Protocol, sustainable development, etc.

13th (11/11 8:50-10:20)	Mega FTA, Trans-Pacific Partnership Agreement (TPP), Regional Comprehensive Economic Partnership (RCEP), food security, farming population, self-sufficiency, etc.
14th (11/11 10:30-12:00)	Economic security, cyber crime, disinformation, counter-disinformation, etc.
15th (11/25 8:50-10:20)	Wrap-up session or more
16th (11/25 10:30-12:00)	Presentation

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2022/11/25		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220592006701	科目番号 / Course code	05920067
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	B7Japan's Foreign and National Security Policy / Japan's Foreign and National Security		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	清田 智子 / KIYOTA Tomoko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	清田 智子 / KIYOTA Tomoko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	清田 智子 / KIYOTA Tomoko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医学部(医学科・保健学科)・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tomokokiyota nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	文教キャンパス教養教育B棟2階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2454		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜14:00-15:00 (これ以外でも時間を作りますので、講義内容や英語の勉強法、課題等について相談したいときは 事前にご連絡ください。)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>今日の世界は二極か多極かという質問には未だ答えは出ていませんが、我々が今、不確実性を伴う過渡期にいることは確かでしょう。米中の対立が新たな世界秩序を形成する中、ロシアは依然として超大国の地位に挑戦し続けています。21世紀は「アジアの世紀」や「太平洋の世紀」と言われますが、欧州は今もパワーポリティクスの戦場となっています。</p> <p>このような不確実な時代に、日本は数多くの伝統的な困難と前例のない挑戦に直面しています。日本が位置する北東アジアは、ロシア、中国、北朝鮮という3つの核兵器国がひしめき合い、歴史問題が常に各国の関係を損ね続けています。地域を不安定化する事案によって自衛隊と日米同盟の重要性がますます高まる中、日本の歴代政権は依然として憲法改正に関する議論を引き延ばし続けています。そのような政府による優柔不断はしばしば日本の国益を損ねていると言えるでしょう。しかし一方で、簡単に解決策や答えが見つからない問題が多いこともまた確かです。間違った決定が隣国との関係を悪化させたり、国内世論の反発を招いたりすることもありえます。政府は重要な決定を下す際、時としてジレンマに直面するのです。</p> <p>我々国民も、政府が恣意的な決定を下さないよう、しっかりと声を上げていくことが大切です。しかしそもそも我々は何のような声を上げるべきでしょうか？自分の意見は持っていますか？政府の決定を評価するだけの十分な知識はありますか？我々の意見は常に偏りのない正しいものと言えるでしょうか？他に選択肢はないでしょうか？</p> <p>このような観点から、この講義では日本の外交・安全保障に関する論点を取り上げ、それらにどのように対応すべきか議論します。この講義では、領土問題、軍拡競争、シーレーン防衛といった伝統的安全保障のみならず、気候変動、サイバー犯罪、食料自給といった非伝統的安全保障問題も取り上げる予定です。また、国際関係における理論と実践の違いも議論していきます。</p> <p>以上に加え、多くの非英語圏の学生が受講することを想定し、この講義では、英語で「聞く、話す、読む、書く」を実践する機会を多く設けます。講師(同じく非英語圏出身)の講義だけでなく、ゲスト講師やニュース、Youtube動画等でも英語を聞きます。さらに全ての学生がグループ・ディスカッションに参加し、自分の意見を英語で述べる訓練をします。ディスカッションの後には、各グループの代表1人に議論で出た意見を要約してもらいます。講義の準備として、日々ニュースを確認し、そのニュースの概要や自分の考えを講師に毎週英語で送っていただきます。それによりフォーマルな英語のメールの書き方を学びます。そして最後に、課題として英語による1000wordsのポジションペーパーを提出していただきます。</p> <p>講師も学生一人一人をアシストしますので、一緒に頑張りましょう。</p> <p>英語による講義内容の詳細(the Extended Syllabus)や参考資料等は、以下のPadletに掲載しているので、講義を受講する方は必ず読んで理解しておいてください。 https://padlet.com/tomokokiyota/3fn55jcf72wq9mcp password: nagasakiuniversity</p>		

授業到達目標/Course goals	1. 日本の外交・安全保障問題に関する論点について学び、それぞれにどのような意見があるのか調べ、それを批判的に検討し、自分の意見を論理的に述べるようになる()。 2. 英語のポジションペーパーを書き、その内容を英語で発表できるようになる()。
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性/Autonomy 汎用的能力/Generic Competence 倫理観/Ethics 多様性の理解/Understanding Diversity 協働性/Cooperativeness 考えをやり取りする力/Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心/Interest in international/local society
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取組(15点)、メール課題(21点)、レポート課題(40点)、プレゼンテーション(24点)=合計100点のうち60点以上が合格とする。
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	・日本の外交・安全保障問題や講義で取り上げる内容について参考文献を読んだり、インターネットで調べ、自分の考えを英語で1分程度の内容にまとめ、講師にメールで送る(メール課題、講義準備)。(2時間) ・ポジションペーパーのテーマについて調べ、英語で1000wordsにまとめる。(2時間)
キーワード/Keywords	
教科書・教材・参考書/Materials	佐藤史郎、川名晋史、上野友也、齊藤孝祐編、『日本外交の論点』(法律文化社、2018年)。防衛大学校安全保障学研究会、『安全保障学入門』(できれば新訂第5版が望ましい)(垂紀書房、2018年)。 (I'll summarize the points of the books in English for those who do not read Japanese.) Ministry of Foreign Affairs (MOFA) of Japan, Diplomatic Bluebook (latest version), https://www.mofa.go.jp/policy/other/bluebook/index.html . (日本語版あり) Ministry of Japan (MOD), Defense of Japan (latest version), https://www.mod.go.jp/en/publ/w_paper/index.html . (日本語版あり)
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	英語による講義内容の詳細(the Extended Syllabus)や参考資料等は、以下のPadletに掲載しているので、講義を受講する方は必ず読んで理解しておいてください。 https://padlet.com/tomokokiyota/3fn55jcf72wq9mcp password: nagasakiuniversity
学生へのメッセージ/Message for students	・この講義には異なるバックグラウンドや異なる英語レベルの学生が参加することが想定されていますので、色んな国の人たちや異なる意見を尊重してください。 ・非英語圏の学生へ: この講義は英語の実践の場を提供します。しかし、週に一度の講義だけでは英語は絶対上手になりません。このセメスターの期間中は、できる限りたくさんの英語のニュースを読み、聞き、英語で話す、書く訓練をしてください。Practice makes perfect. ・英語圏の学生へ: もしこの講義が簡単すぎる場合には、日本語の課題に挑戦してみてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name/Details of practical experience/Contents of course	本講義を担当する清田は、2017年から2年間、外務省アジア大洋州局地域政策参事官室で外務事務官としてASEANを担当し、2019年から2年間、在タイ日本国大使館で書記官として日タイ関係や日ASEAN関係の促進に関与した。また在インド日本国大使館では2年間、専門調査員としてインド内政を担当した。本講義では、そうした外交の現場における実務経験に基づき、現在の日本の外交・安全保障を考える上で絶対に知っておくべきテーマを取り上げる。
授業計画詳細/Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents

第1回（9月30日：1限目）	イントロダクション（自己紹介、講義の構成、情報の集め方、ディスカッションの方法、課題、評価等）
第2回（9月30日：2限目）	外交とは何か、日本の安全保障環境、政策決定の仕組み（官邸、外務省、防衛省、NSCの役割）、日本の戦略思想等
第3回（10月7日：1限目）	憲法第9条、自衛隊、日米同盟、米軍基地、集団的自衛権、防衛予算等
第4回（10月7日：2限目）	自由で開かれたインド太平洋（FOIP）、日米豪印戦略対話（QUAD）
第5回（10月14日：1限目）	日本の領土、尖閣諸島、竹島、北方領土、領土紛争、国連海洋法条約（UNCLOS）等
第6回（10月14日：2限目）	台湾、シーレーン、南シナ海等
第7回（10月21日：1限目）	北朝鮮、ミサイル・核開発、ミサイル防衛、国連安全保障理事会（UNSC）等
第8回（10月21日：2限目）	歴史、世界遺産、靖国、謝罪国家等
第9回（10月28日：1限目）	ASEAN、内政干渉、ミャンマー、軍事クーデター、制裁等
第10回（10月28日：2限目）	難民、人権、移民等
第11回（11月4日：1限目）	COVID-19、ワクチン外交、COVAX、WHO等
第12回（11月4日：2限目）	気候変動、地球温暖化、気候変動に関する国際連合枠組条約（UNFCCC）、気候変動枠組条約締結国会議（COP）、京都議定書、持続可能な開発
第13回（11月11日：1限目）	メガFTA、環太平洋パートナーシップ協定（TPP）、地域的な包括的経済連携（RCEP）協定、食料安全保障、農業人口、自給自足等
第14回（11月11日：2限目）	経済安全保障、サイバー犯罪、Disinformationと対抗措置等
第15回（11月25日：1限目）	総括
第16回（11月25日：2限目）	プレゼンテーション

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2022/11/28 ~ 2023/02/03		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220592003301	科目番号 / Course code	05920033
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	B8病気の仕組み / Mechanisms Underlying Diseases		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	森 亮一 / Mori Riyouti, 江口 晋 / Eguti Susumu, 金高 賢悟 / Kanetaka Kengo, 曾山 明彦 / Soyama Akihiko, 朴 盛浚 / Paku Senjiyun, 小林 和真 / Kobayashi Kazuma, 井上 悠介 / Inoue Yusuke, 森田 道 / Morita Michi, 丸屋 安広, 今村 一步, 下川 功 / Isao Shimokawa		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	森 亮一 / Mori Riyouti		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	森 亮一 / Mori Riyouti, 江口 晋 / Eguti Susumu, 金高 賢悟 / Kanetaka Kengo, 曾山 明彦 / Soyama Akihiko, 朴 盛浚 / Paku Senjiyun, 小林 和真 / Kobayashi Kazuma, 井上 悠介 / Inoue Yusuke, 森田 道 / Morita Michi, 丸屋 安広, 今村 一步, 下川 功 / Isao Shimokawa		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医(保)・歯・情・工・環		
担当教員メールアドレス / E-mail address	shimo nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は、 を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	医学部医学科基礎研究棟 5階病理 1 教授室		
担当教員TEL / Tel	095-819-7051		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜日、水曜日、16:30-17:30		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	体に起こる病的な変化(炎症、癌、代謝異常など)を概説し、その原因と進展、ヒトが死に至る過程を考察します。特に、癌に着目し、手術療法、抗がん剤、免疫療法など現代医学の挑戦を紹介し ます。		
授業到達目標 / Course goals	ヒトにおこる病気の基本的なメカニズム(細胞傷害、炎症、代謝異常、癌など)を理解し、説明で きるようになる。それらの疾患からヒトが死に至る過程を理解し、疾患の予防や健康寿命の延伸に ついて科学的に考察できるようになる。がんの最先端の治療を知り、その予防や社会的インパクト について、議論できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み(10点) + レポート課題(90点) = 合計100点のうち60点以上を合格と する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	予習: 事前に授業の課題、レジュメをキーワードとして書籍、Webなどで調べておく(2h)。 復習: 授業内容、レジュメを再確認し、課題に対して自身の考えをまとめておく(2h)。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	わかりやすい病理学 改訂第6版 岩田隆子、ほか編集 南江堂		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	下川 功/長崎大学医学部、大学病院、大村市民病院などにおける病理医師としての勤務経験（病理診断、剖検）に基づき、病気のメカニズムと病気の発症から死に至る過程を概説する。 江口晋/長崎大学病院、関連病院において外科医師としての勤務経験の基づき、各種がんや先端の治療について概説する。 金高賢悟/長崎大学病院、関連病院において外科医師としての勤務経験の基づき、各種がんや先端の治療について概説する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
12月2日 1時限	細胞や組織の傷害 1（下川・森）
12月2日 2時限	細胞や組織の傷害 2（下川・森）
12月9日 1時限	細胞や組織の傷害 3（下川・森）
12月9日 2時限	細胞や組織の傷害 4（下川・森）
12月16日 1時限	死に至る過程 1（病理解剖例の提示）（下川）
12月16日 2時限	死に至る過程 2（病理解剖例の提示）（下川）
12月23日 1時限	死に至る過程（総合討論 1）（下川）
12月23日 2時限	死に至る過程（総合討論 2）（下川）
1月6日 1時限	がんの歴史（金高）
1月6日 2時限	抗がん剤について（江口・小林）
1月20日 1時限	上部消化管のがん（江口・丸谷）
1月20日 2時限	大腸のがん（江口・井上）
1月27日 1時限	肝臓のがん（江口・曾山）
1月27日 2時限	膵臓のがん（江口・田中）
2月3日 1時限	女性のがん（江口・森田）

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2022/11/25		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220592003501	科目番号 / Course code	05920035
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	B8体の仕組み / Structure and Function of Human Body		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	弦本 敏行 / Turumoto Toshiyuki, 田中 克己 / Tanaka Katsumi, 高村 敬子 / Takamura Keiko, 櫻山 和也, 下川 功 / Isao Shimokawa		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	弦本 敏行 / Turumoto Toshiyuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	弦本 敏行 / Turumoto Toshiyuki, 田中 克己 / Tanaka Katsumi, 高村 敬子 / Takamura Keiko, 櫻山 和也		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	保・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tsurumot nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	医学部肉眼解剖学教室		
担当教員TEL/Tel	095(819)7021		
担当教員オフィスアワー/Office hours	tsurumot nagasaki-u.ac.jp まで相談してください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ヒトのからだの構造について、基礎医学と臨床の立場から分かりやすく説明します。 解剖学の立場からは、骨・関節、心臓、呼吸器、消化器などを中心に解説します。 形成外科からは、顔面、手・足を中心とし、形態の点から科学的に捉え、その変化についても考察 します。ヒトの身体的特徴である外表の器官は、他の生物と異なり、日常生活の中での大きな役割 を担っています。さらに機能だけではなく、いわゆる見かけである整容面(形態面)の問題や心理 的な側面からも考えることが重要です。いくつかの代表的な部位をさまざまな角度から見つめなお し、私たちのからだを科学的に考えてみます。		
授業到達目標/Course goals	1. ヒトのからだを構成する各臓器・器官のかたちを理解し、その意義を理解できるようになるこ と。 2. この授業を通して、ヒトのからだの機能だけではなく、その内面がもつものも認識できるよう にする。外貌の変形や障害というものが、果たして機能的なものだけではなく、整容的な面への問 題点を持つことや心理的な面、とくにアイデンティティなどの喪失や回復なども含めて考えるこ とができるようになること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	出席は基準通り。 毎回レポートあるいは小テストを提出して、それらを評価する。各回ごとに100点満点で評価し、全 体の評価が60%以上を合格とする。点数に応じて段階的に評価を行う。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業の資料を確認し、ヒトのからだの構造と機能、形態（整容）を理解する。 日常生活における役割を認識する。 【事前学習】LACSに掲載されている講義資料に目を通して、講義の概要を知っておく。（2h） 【事後学習】講義内の重要な点を復習するとともに、関係する事項を成書やインターネット等を用いて確認を行い、理解を深める。（2h） 3D解剖学アプリ“Visible Body”を活用すること。
キーワード/Keywords	ヒト、臓器、器官、解剖学、形態、アイデンティティー
教科書・教材・参考書/Materials	講義用資料（LACS掲載予定） インターネットを活用してください。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	とくにありません。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	形態学とはもののかたちからさまざまな情報をえて、その本質を理解する学問です。本科目ではとくにヒトのからだに焦点を絞り、それを構成するさまざまな臓器、器官の成り立ちをわかりやすく説明します。 また、ヒトの形態は自己と他者で同一の場合も異なる場合もあります。機能と形態を理解することが、ヒトの多様性を理解する一助になります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	弦本 敏行/整形外科において医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/ 田中 克己/形成外科において医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/ 樫山 和也/形成外科において医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/ 高村 敬子/麻酔科において医師としての実務経験を有している。/当該科での実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
9月30日(1)	弦本敏行：オリエンテーション；講義計画、授業の進め方に関する説明等 総論、骨と関節(1)
9月30日(2)	弦本敏行：骨と関節(2)
10月7日(1)	高村敬子：心臓の仕組みと働きについて
10月7日(2)	高村敬子：血管・リンパ管の仕組みと働きについて
10月14日(1)	高村敬子：呼吸器系の仕組みと働きについて
10月14日(2)	高村敬子：泌尿器系の仕組みと働きについて
10月21日(1)	高村敬子：消化器系の仕組みと働きについて
10月21日(2)	高村敬子：内分泌系の仕組みと働きについて
10月28日(1)	樫山和也：体表面からのヒト形態の科学 頭蓋・顔面 (1)
10月28日(2)	樫山和也：体表面からのヒト形態の科学 頭蓋・顔面 (2)
11月4日(1)	田中克己：体表面からのヒト形態の科学 皮膚・毛
11月4日(2)	田中克己：体表面からのヒト形態の科学 乳房
11月11日(1)	田中克己：体表面からのヒト形態の科学 手
11月11日(2)	田中克己：体表面からのヒト形態の科学 足
11月25日	弦本敏行：骨と関節(3) 総括

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2022/11/25		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220586026301	科目番号 / Course code	05860263
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 11531_005		
授業科目名 / Course title	B9社会における精神健康 / Mental Health in Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	永江 誠治 / Nagae Masaharu, 南嶋 里佳, 折口 智樹 / Origuti Tomoki, 辻 麻由美 / Mayumi Tsuji		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	永江 誠治 / Nagae Masaharu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	永江 誠治 / Nagae Masaharu, 南嶋 里佳, 辻 麻由美 / Mayumi Tsuji		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	永江 : m-nagae nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください) 南嶋 : r-minami nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください) 辻 : mayumi_tsuji nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	永江 : 医学部保健学科 4 階		
担当教員TEL/Tel	永江 : 095-819-7997		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにて随時対応する。 永江 : m-nagae nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	社会における精神障害や精神保健に関する基礎的内容(精神障害、その支援)について理解する。		
授業到達目標/Course goals	1. 社会における精神障害や精神保健に関する基礎的知識について調べ、他者と共有することができる。 2. 事例を通して、各テーマにおける精神健康問題と社会との関係について考察することができる。 3. 各テーマについてグループで考察した内容を効果的に他者に伝えることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	ワークシート7回分(10点×7) 授業への取り組み姿勢、グループ討論状況、考察の有無 最終発表(10%) 発表内容、プレゼン能力、質疑応答能力 レポート(20%) 講義テーマに関連する内容についての考察能力 <合格基準> 長崎大学成績評価ガイドラインにそって評価し、C判定以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習: 授業テーマについて文献等を用いて調べて来る(2H) 事後学習: 授業で使用するワークシート(調べた内容・映画からの学び・話し合ったこと・あなたが考えたこと)を完成させる(2H)		
キーワード/Keywords	社会、精神健康、精神保健、シネマ・サイキアトリー、当事者		
教科書・教材・参考書/Materials	講義中に示す		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	精神健康、精神保健、精神障害等に関する情報の収集を積極的に行うこと		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	撮影・SNS等についての注意 1．講義・演習の資料、教材、動画等を自己学習以外の目的で使用する場合は、必ず、担当教員の許可を得ること。資料、教材、動画等には講義演習で使用した資料、物品等を個人用カメラで撮影したものも含む。 2．SNSに講義や演習に関連した以下の内容を投稿した場合は、投稿に関与した学生全員について、試験受験資格なしとするなどの対応をとることがある。 人の尊厳を傷つける内容、個人情報と捉えられる内容、プライバシーの侵害にあたる内容、職業意識を脅かす内容、社会的信用の損失につながる内容など
学生へのメッセージ/Message for students	第1回目の授業は、10:30-12:00の1コマです。 授業開始前までに、医学・精神保健情報の検索方法などについて習熟しておくこと
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	永江誠治 / 看護師が病院（精神科）にて実務経験 / DVD視聴を通して、社会的な精神健康についての基礎知識習得と障害者への理解を深める。 南嶋里佳 / 看護師 / 災害看護に関する実務経験に基づき、災害とメンタルヘルスについて教授する。 辻麻由美 / 看護師 / 老年看護に関する実務経験に基づき、認知症とメンタルヘルスについて教授する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (9/30) 永江	オリエンテーション（本モジュールの進め方の説明、グループワークの導入）
第2回 (10/7) 永江	うつ病：事前学習内容の共有、うつ病がテーマのDVDを視聴
第3回 (10/7) 永江	うつ病：うつ病がテーマのDVDを視聴、社会との関連について討論
第4回 (10/14) 南嶋	災害と心のケア：事前学習内容の共有、災害と心のケアの体験を聞く
第5回 (10/14) 南嶋	災害と心のケア：災害と心のケアの体験を聞く、社会との関連について討論
第6回 (10/21) 永江	発達障害：事前学習内容の共有、発達障害がテーマのDVDを視聴
第7回 (10/21) 永江	発達障害：発達障害がテーマのDVDを視聴、社会との関連について討論
第8回 (10/28) 永江	依存症（薬物）当事者からの話を聞く（45-50分） 依存症（ギャンブル）当事者からの話を聞く（45-50分）
第9回 (10/28) 永江	依存症（アルコール）当事者からの話を聞く（45-50分） 依存症（薬物・ギャンブル・アルコール）と社会との関連について討論
第10回 (11/4) 辻	認知症：事前学習内容の共有、認知症がテーマのDVDを視聴
第11回 (11/4) 辻	認知症：認知症がテーマのDVDを視聴、社会との関連について討論
第12回 (11/11) 永江	児童虐待：事前学習内容の共有、児童虐待がテーマのDVDを視聴
第13回 (11/11) 永江	児童虐待：児童虐待がテーマのDVDを視聴、社会との関連について討論
第14回 (11/18) 永江	発表の準備（PowerPointの作成）
第15回 (11/18) 永江	発表会（グループごとに担当を決めて、発表）

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2022/11/28 ~ 2023/02/02		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220586028501	科目番号 / Course code	05860285
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 15171_005		
授業科目名 / Course title	B9人の健康について / Human Health		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	折口 智樹 / Origuti Tomoki, 澤井 照光 / Sawai Terumitsu, 田中 貴子 / Tanaka Takako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	折口 智樹 / Origuti Tomoki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	折口 智樹 / Origuti Tomoki, 澤井 照光 / Sawai Terumitsu, 田中 貴子 / Tanaka Takako		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医(医)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	origuchi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	折口/医学部保健学科2階、澤井/同5階、田中/同3階		
担当教員TEL/Tel	折口/095-819-7921, 澤井/095-819-7990, 田中/095-819-7967		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日13時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	人の健康ならびに健康問題に関する最新情報を収集し、理解する。 医学と環境・工学・情報科学・歯学との関連について検討する。		
授業到達目標/Course goals	健康の概念と健康問題、医療機器の進歩について説明できるようになる。 自主的に学習し、知り得た知識を説明するスキルを習得できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	< 成績評価の方法 > 発表、提出物、試験、授業への貢献度を総合的に評価する。60%以上の出席を必須とする。 各担当者の講義時間数によって点数を配分して評価する。最終的な評価は科目責任者が行う。 < 合格基準 > 長崎大学成績評価ガイドラインに沿って評価し、AA, A, B, C, Dの評語をもって表し、AA (90点以上)・A (89点~80点)・B (79点~70点)・C (69点~60点) が合格 (単位認定), D (59点以下) が不合格とする。 < 成績発表の方法 > ・成績の発表は、学期ごとに準備が整い次第、掲示板等で連絡し、学務情報システム「Nu-Web」より各自で確認できる。 ・成績に疑義が生じた場合は、学生の手引きに記載している正規の手続きをもって申し立てをすることができる。 ・詳細な成績を知りたい場合は、オフィスアワー等を利用し、個別に対応する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習 特に指定しない。 復習 講義の内容について復習するとともに、講義に関連する事項について自主学習をし、理解を確実にするよう努めること。(2h) プレゼンテーションはグループごとに共同して準備すること。(2h)		

キーワード/Keywords	人、健康、健康問題、医療機器、環境	
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は特に定めない。 スライドなどを使用して講義を進める。	
受講要件(履修条件)/Prerequisites	健康ならびに健康問題に関心のある学生、共同して学習することに関心のある学生。	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948	
備考(URL)/Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	プレゼンテーション(発表)をする方法を学んでおく。	
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	担当教員は大学病院で内科医、外科医、理学療法士として診療に携わっており、最新の健康や病気に関する内容を提供する。	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	人の健康について概論(担当:折口) 講義	F
第2回	生活習慣・運動と健康について(担当:折口) プレゼンテーションの説明	F
第3回	生活習慣と健康について1(担当:折口) 講義	A
第4回	生活習慣と健康について2(担当:折口) DVD鑑賞と医療機器のデモンストレーション	C
第5回	運動と健康について1(担当:折口) 講義	A
第6回	運動と健康について2(担当:折口) DVD鑑賞と医療機器のデモンストレーション	C
第7回	生活習慣・運動と健康について(担当:折口) プレゼンテーション	B
第8回	生活習慣・運動と健康について(担当:折口) プレゼンテーション	B
第9回	生活習慣・運動と健康について(担当:折口) 小テストとレポート	A
第10回	がんと健康について1(担当:澤井)	A
第11回	がんと健康について2(担当:澤井)	A
第12回	がんと健康について3(担当:澤井)	A
第13回	公害と呼吸器と健康について1(担当:田中)	F
第14回	公害と呼吸器と健康について2(担当:田中)	F
第15回	公害と呼吸器と健康について3(担当:田中)	C

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2022/11/24		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220586001301	科目番号 / Course code	05860013
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 11711_005		
授業科目名 / Course title	B10ヒトの生物学 / Life Science of Humans and Living Organisms		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	住田 吉慶 / Sumita Yoshinori, 大庭 伸介 / Oba Shinsuke, 魚返 拓利 / Ogaeri Takunori, 片瀬 直樹 / KATASE Naoki, 筑波 隆幸 / TSUKUBA Takayuki, 坂井 詠子 / SAKAI Eiko, 森石 武史 / MORIISHI Takeshi, 永野 健一 / NAGANO Kenichi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	住田 吉慶 / Sumita Yoshinori		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	住田 吉慶 / Sumita Yoshinori, 魚返 拓利 / Ogaeri Takunori, 片瀬 直樹 / KATASE Naoki, 坂井 詠子 / SAKAI Eiko, 森石 武史 / MORIISHI Takeshi, 永野 健一 / NAGANO Kenichi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	森石 : moriishi nagasaki-u.ac.jp 坂井 : eiko-s nagasaki-u.ac.jp 魚返 : ogaeri nagasaki- u.ac.jp 住田 : y-sumita nagasaki-u.ac.jp 永野 : k-nagano nagasaki-u.ac.jp 片瀬 : katase nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に書き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	森石 : 医歯薬学総合研究科細胞生物学分野 坂井 : 医歯薬学総合研究科歯科薬理学分野 魚返・住 田 : 医歯薬学総合研究科先進口腔医療開発学分野 永野・片瀬 : 医歯薬学総合研究科口腔病理学 分野		
担当教員TEL/Tel	住田吉慶 : 095-819-7706		
担当教員オフィスアワー/Office hours	住田吉慶 / 先進口腔医療開発学分野		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発生学・組織学・細胞生物学・免疫学・病理学の観点から、生物としてのヒトを理解するための基 礎知識の獲得を目指す。ヒトの各器官・組織の正常な発生過程と構造(発生・組織学)、生命現象 の基本単位である細胞の構造と働き(細胞生物学)、組織の修復と免疫(免疫学)、運動器の働 きとその異常、細胞の老化と加齢変化(病理学)を概説する。		
授業到達目標/Course goals	ヒトの発生過程と組織構造の概略を説明できる。 細胞の構造と活動の概略を説明できる。 組織の修復過程、その際の免疫学的反応の概略を説明できる。 運動器の働きの概略を説明できる。 細胞の老化と組織の加齢変化を説明できる。 必要な科学情報を検索し、まとめることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験(80点)、授業への取り組み(20点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習 : 参考書や資料をあらかじめ読んできてください(1h) 復習 : 資料を再読し、理解を確実にするように努めてください(1h)		
キーワード/Keywords	遺伝子、タンパク質、細胞、個体発生、遺伝子調節、骨、神経、老化、免疫、幹細胞		
教科書・教材・参考書/Materials	1. Essential細胞生物学 原書第4版(中村桂子、松原謙一監訳)南江堂 2016 2. ラングマン人体発生学 第11版(安田峯生、山田重人訳) MEDSI 2018		

受講要件 (履修条件) /Prerequisites	期末試験の受験には2/3以上の出席を必須とする
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	住田 吉慶/名古屋大学医学部附属病院と長崎大学病院での歯科・口腔外科診療の実務経験/歯科・口腔外科診療の実務経験を踏まえ、組織の基本構造とその恒常性維持機構に関する講義を行う。 永野 健一/長崎大学病院での病理診断実務経験/長崎大学病院での病理診断業務経験を元に、運動器官の構造・機能とその異常に関する講義を行う。 片瀬 直樹/長崎大学病院での病理診断実務経験/長崎大学病院での病理診断業務経験を元に、細胞の老化と組織の加齢変化に関する講義を行う。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
9/29 (1-2校時)	第1回 イントロダクション・生命のはじまり(森石武史) 第2回 からだをつくるメカニズム(森石武史)
10/6 (1-2校時)	第3回 器官をつくるための基本構造(森石武史) 第4回 器官の構造(森石武史)
10/13 (1-2校時)	第5回 細胞のつくりと機能(坂井詠子) 第6回 細胞の調節機構(坂井詠子)
10/20 (1-2校時)	第7回 細胞の調節機構(坂井詠子) 第8回 発表会(発表課題はLACSで公開)(坂井詠子)
10/27 (1-2校時)	第9回 組織とその恒常性維持(住田吉慶) 第10回 組織幹細胞の役割(魚返拓利)
11/10 (1-2校時)	第11回 造血幹細胞とそのニッチ(魚返拓利) 第12回 組織の再生と免疫細胞の役割(住田吉慶)
11/17 (1-2校時)	第13、14回 ヒトを支える器官とその異常(永野健一)
11/24 (1校時)	第15回 細胞の老化と組織の加齢変化(片瀬直樹)

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2022/11/28 ~ 2023/02/02		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220586002101	科目番号 / Course code	05860021
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 11731_005		
授業科目名 / Course title	B10ストレスと健康 / Stress and Health		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	筑波 隆幸 / TSUKUBA Takayuki, 門脇 知子 / KADOWAKI Tomoko, 内藤 真理子 / Naito Mariko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	筑波 隆幸 / TSUKUBA Takayuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	筑波 隆幸 / TSUKUBA Takayuki, 門脇 知子 / KADOWAKI Tomoko, 内藤 真理子 / Naito Mariko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医 (医・保)・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	筑波隆幸 : tsuta@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	歯科薬理学		
担当教員TEL/Tel	095-819-7652		
担当教員オフィスアワー/Office hours	17時 ~ 18時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	オムニバス形式授業・生命科学		
授業到達目標/Course goals	ストレスに関する様々な生命科学の現象を理解する		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート課題による評価を行う (3課題) なお、授業に出席した時数が3分の2に達しない場合は、失格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	各授業ごとにテーマが与えられます。そのテーマについて各自でインターネットを用いて調べて、 プレゼンテーションしてください。		
キーワード/Keywords	ストレスと健康		
教科書・教材・参考書/Materials	なし		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	講義数の2/3以上の出席		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る 社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。 授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	欠席しないでください。		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	筑波担当講義1
2	筑波担当講義2
3	学生発表1
4	学生発表1
5	筑波担当講義3
6	内藤担当講義1
7	内藤担当講義2
8	内藤担当講義 3
9	学生発表 2
10	学生発表 2
11	門脇担当講義2
12	門脇担当講義2
13	学生発表3
14	学生発表3
15	門脇担当講義3

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2022/11/28 ~ 2023/02/02		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20220586036901	科目番号 / Course code	05860369
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	B11人間関係の社会学(2020年度以前入学生用) / Sociology of Human Relationship		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	岡田 佳子 / Okada Yoshiko, 當山 明華 / Toyama Sayaka		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	岡田 佳子 / Okada Yoshiko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	岡田 佳子 / Okada Yoshiko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	okadayo nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部512		
担当教員TEL/Tel	095-819-2091		
担当教員オフィスアワー/Office hours	何か質問や相談したいことがあったら遠慮なく来てください。 但し、LACS経由ではなく、必ずメールにて面談の予約をしてください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>私達はこの世に生まれてから死ぬまで、必ず誰かとの人間関係の中で生きています。本科目では、この対人関係の中にみられる諸問題について客観的・分析的に考え、その後自分達で何かしらの解決策を探求していくことを目指します。</p> <p>そのために本科目ではまず、様々な人間関係の中にある諸問題について、教育学・社会学の観点から客観的・分析的に考えるための視点を養います。次に、それらの視点に基づき、今後実際の諸問題にどのように対応していくのかについてグループワークやディスカッションの中で自分達なりの答えを考え出していくことを目指します。</p> <p>本科目は大学や社会でのコミュニケーションに必要とされる思考力・分析力・コミュニケーション力など、様々な基礎能力を育成することを目指しています。そのため、この科目では皆さんの積極的な参加が不可欠です。授業内では他者とのコミュニケーションや自分の意見を持つことが強く求められます。この科目ではグループワークや課題の配点を高くしています。そのため、受動的に授業を受けたい人には非常に不向きな授業であるため、その点に留意して受講してください。</p>		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・人間関係が人に及ぼす影響について社会学の用語を用いて説明することができる ・自分が経験してきた人間関係の影響について、客観的に分析できる ・他者との考え方・価値観の違いが生まれる背景や要因について推察することができる ・人間関係に関する諸問題について自分の考えを述べるることができる ・他者の多様な価値観について受容的に関わることができる 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業内ワーク及び事前ワーク40%、授業外課題60% 全課題の総計を100点満点に換算し、60点以上を合格とします。 但し、(1)全体の2/3以上の出席及び、(2)ワークと課題を全体の2/3以上提出していること(3)最終グループプレゼンテーションに参加していることを「成績評価の最低条件」とします。(この条件を満たしていない学生は自動的に単位が取得できないことになります。また、これらは合格の最低条件ではありません。採点結果によっては不合格になる可能性も十分にありますのでくれぐれも注意してください) 本科目では、最終試験は実施しません。その代わりに、授業回数が16回ありますので注意してください。
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	本科目では、毎回動画を見て、いくつかのミニワーク(課題)を提出してもらいます。その中に授業の予習・復習の内容が含まれているので、授業に出席する際は必ず予習動画を見てワークを提出したうえで臨むこと。
キーワード/Keywords	社会化、ジェンダー、文化、スクールカースト、文化階層、文化的再生産
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は指定しません。参考資料等は授業の中で随時配付します。 また、主な参考書は以下の通りです。 ピエール・ブルデュー(1991)『再生産』藤原書店 ピエール・ブルデュー(1990)『ディスタンクシオン』藤原書店 恒吉僚子(1992)『人間形成の日米比較-かくれたカリキュラム』中央公論社(中公新書) 木村涼子(1999)『学校文化とジェンダー』勁草書房 エリザベート・バダンテール(1998)『母性という神話』筑摩書店(ちくま学芸文庫) ポール・ウィリス(1996)『ハマータウンの野郎ども』筑摩書店(ちくま学芸文庫) アンソニー・ギデンズ(1995)『親密性の変容-近代社会におけるセクシュアリティ、愛情、エロティシズム』而立書房 松岡亮二(2019)『教育格差』ちくま新書
受講要件(履修条件)/Prerequisites	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内外の課題やグループワークに積極的に取り組むこと。 ・授業進行やグループワークの妨げとなるので特段の理由がない限りは遅刻厳禁です。遅刻した際、グループワークの妨げになる時点での入室を断る場合があります。(その時間の出席は認めません)授業開始時には必ず着席しておくよう、くれぐれも注意してください。 ・授業中の私語および携帯電話の使用は禁止します。使用を発見した段階で退室してもらう場合があります。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948
備考(URL)/Remarks (URL)	<ul style="list-style-type: none"> ・この授業では座席指定を行います。座席の指示は授業開始時に行うため、遅刻しないこと。 ・授業内でグループワークを頻繁に行うため、特別の理由がない限りは遅刻厳禁とします。それに留意したうえで受講すること。
学生へのメッセージ/Message for students	この科目では自分の経験や社会的な問題について客観的に捉え直す視点を培い、考える力をつけていくことをねらいとしています。人間関係や社会的な問題について一緒にじっくり考えていきましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション・学校の人間関係を考える(1)
第2回	学校の人間関係を考える(2)
第3回	学校の人間関係を考える(3)
第4回	学校の人間関係を考える(4)
第5回	教育格差を考える(1)
第6回	教育格差を考える(2)
第7回	教育格差を考える(3)
第8回	教育格差を考える(4)

第9回	ジェンダーについて考える(1)
第10回	ジェンダーについて考える(2)
第11回	ジェンダーについて考える(3)
第12回	ジェンダーについて考える(4)
第13回	人の多様性について考える(1)
第14回	人の多様性について考える(2)
第15回	人の多様性について考える(3)
第16回	人の多様性について考える(4)

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2022/11/24		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220592003701	科目番号 / Course code	05920037
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	B11対人関係を考える / Workshops on Interpersonal Relationship		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	當山 明華 / Toyama Sayaka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	當山 明華 / Toyama Sayaka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	當山 明華 / Toyama Sayaka		
科目分類 / Course Category	教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	s-toyama nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育開発推進機構アドミッションセンター		
担当教員TEL/Tel	2115		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにて予約		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>本科目は「文化と対人関係」のモジュール科目として、大学や社会でのコミュニケーションに必要とされる基礎能力の育成を目指します。</p> <p>他者や社会を理解する科目ですが、これらを理解するためにはまず自分を知ることが大切です。そのために、最初に自己の感情や思考についての理解を深め、その後他者や社会について理解を深めていきます。</p> <p>この科目では、最初に理論を学び、その後理論を用いたワーク、グループ・ディスカッション等を行います。自己と他者の基礎的知識を理解し実践によって定着することで、皆さんの社会生活が豊かになることを目指します。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>(1)自己および他者についての基礎的な知識を得ることができる</p> <p>(2)自分の気持ちや考えを整理することができる</p> <p>(3)自分の気持ちや考えを他者に表現することができる</p> <p>(4)自分の考えと異なる他者の考えを理解できる</p> <p>(5)思わぬ事態が起こった際に客観的に考えようとするすることができる</p> <p>(6)社会や環境への意識を高めることができる</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>成績評価は、課題(60%)およびリフレクションペーパー(40%)の評価で行います。リフレクションペーパーは出席も兼ねています。</p> <p>また、下記の条件を全て満たした方のみを評価対象とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席は8回以上 ・最終課題以外の課題提出は5回以上 ・最終課題の提出 <p>(課題については、期限外の提出は認めません)</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	各回とも、テーマに沿ったワークを行っています。学修を深めるために復習を行い(1h)、それを元にしたレポートの提出を求めます(3h)。
キーワード/Keywords	論理的思考, 批判的思考, ディスカッション
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は指定しません。参考資料等は授業のなかで随時配布・提示します。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考(URL)/Remarks (URL)	全回出席が可能なこと。集中して授業や課題に取り組むこと。自分の言動に責任を持てることを求めます。 教員からの指示がない限り、授業中のPCおよびスマートフォンの使用は不可とします。
学生へのメッセージ/Message for students	この科目では、理論の理解を元に自己および他者との関わりを実践的に行います。そのため、授業外での学修や課題、調査の比重が大きいです。受講を希望する人はその点に留意して参加して下さい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1, 2回	オリエンテーション, 自分自身を知る
第3, 4回	自己とは何か
第5, 6回	自己と他者(1)ステレオタイプ, 対人認知
第7, 8回	自己と他者(2)
第9, 10回	自己と社会(1)集団規範, 社会的ジレンマ
第11, 12回	自己と社会(2)
第13, 14回	自己と環境
第15回	まとめと振り返り

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2022/11/28 ~ 2023/02/02		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220592003901	科目番号 / Course code	05920039
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	B11人間関係の社会学 / Sociology of Human Relationship		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	岡田 佳子 / Okada Yoshiko, 當山 明華 / Toyama Sayaka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	岡田 佳子 / Okada Yoshiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	岡田 佳子 / Okada Yoshiko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	okadayo nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部512		
担当教員TEL/Tel	095-819-2091		
担当教員オフィスアワー/Office hours	何か質問や相談したいことがあったら遠慮なく来てください。 但し、LACS経由ではなく、必ずメールにて面談の予約をしてください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>私達はこの世に生まれてから死ぬまで、必ず誰かとの人間関係の中で生きています。本科目では、この対人関係の中にみられる諸問題について客観的・分析的に考え、その後自分達で何かしらの解決策を探求していくことを目指します。</p> <p>そのために本科目ではまず、様々な人間関係の中にある諸問題について、教育学・社会学の観点から客観的・分析的に考えるための視点を養います。次に、それらの視点に基づき、今後実際の諸問題にどのように対応していくのかについてグループワークやディスカッションの中で自分達なりの答えを考え出していくことを目指します。</p> <p>本科目は大学や社会でのコミュニケーションに必要とされる思考力・分析力・コミュニケーション力など、様々な基礎能力を育成することを目指しています。そのため、この科目では皆さんの積極的な参加が不可欠です。授業内では他者とのコミュニケーションや自分の意見を持つことが強く求められます。この科目ではグループワークや課題の配点を高くしています。そのため、受動的に授業を受けたい人には非常に不向きな授業であるため、その点に留意して受講してください。</p>		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・人間関係が人に及ぼす影響について社会学の用語を用いて説明することができる ・自分が経験してきた人間関係の影響について、客観的に分析できる ・他者との考え方・価値観の違いが生まれる背景や要因について推察することができる ・人間関係に関する諸問題について自分の考えを述べるることができる ・他者の多様な価値観について受容的に関わることができる 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業内ワーク及び事前ワーク30%、授業外課題70% 全課題の総計を100点満点に換算し、60点以上を合格とします。 但し、(1)全体の2/3以上の出席及び、(2)ワークと課題を全体の2/3以上提出していること(3)最終グループプレゼンテーションに参加していることを「成績評価の最低条件」とします。(この条件を満たしていない学生は自動的に単位が取得できないこととなります。また、これらは合格の最低条件ではありません。採点結果によっては不合格になる可能性も十分にありますのでくれぐれも注意してください) 本科目では、最終試験は実施しません。その代わりに、授業回数が16回ありますので注意してください。
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	本科目では、毎回、事前に動画を見ていくつかのミニワーク(課題)を提出してもらいます。予習動画を見ていないとグループワークの阻害要因となるため、授業に出席する際は必ず予習動画を見てワークを提出してから臨むこと。
キーワード/Keywords	社会化、ジェンダー、生徒文化、階層、教育格差、文化的再生産
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は指定しません。参考資料等は授業の中で随時配付します。 また、主な参考書は以下の通りです。 ピエール・ブルデュー(1991)『再生産』藤原書店 ピエール・ブルデュー(1990)『ディスタンクシオン』藤原書店 恒吉僚子(1992)『人間形成の日米比較-かくれたカリキュラム』中央公論社(中公新書) 木村涼子(1999)『学校文化とジェンダー』勁草書房 エリザベート・バダンテール(1998)『母性という神話』筑摩書店(ちくま学芸文庫) ポール・ウィリス(1996)『ハマータウンの野郎ども』筑摩書店(ちくま学芸文庫) アンソニー・ギデンズ(1995)『親密性の変容-近代社会におけるセクシュアリティ、愛情、エロティシズム』而立書房 松岡亮二(2019)『教育格差』ちくま新書
受講要件(履修条件)/Prerequisites	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内外の課題やグループワークに積極的に取り組むこと。 ・授業進行やグループワークの妨げとなるので特段の理由がない限りは遅刻厳禁です。遅刻した際、グループワークの妨げになる時点で入室を断る場合があります。(その時間の出席は認めません)授業開始時には必ず着席しておくよう、くれぐれも注意してください。 ・授業中の私語および携帯電話の使用は禁止します。使用を発見した段階で退室してもらいます。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948
備考(URL)/Remarks(URL)	<ul style="list-style-type: none"> ・この授業では座席指定を行います。座席の指示は授業開始時に行うため、遅刻しないこと。 ・授業内でグループワークを頻繁に行うため、特別の理由がない限りは遅刻厳禁とします。それに留意したうえで受講すること。
学生へのメッセージ/Message for students	この科目では自分の経験や社会的な問題について客観的に捉え直す視点を培い、考える力をつけていくことをねらいとしています。人間関係や社会的な問題について一緒にじっくり考えていきましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name/Details of practical experience/Contents of course	
授業計画詳細/Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents
第1回	オリエンテーション・学校の人間関係を考える(1)
第2回	学校の人間関係を考える(2)
第3回	学校の人間関係を考える(3)
第4回	学校の人間関係を考える(4)
第5回	教育格差を考える(1)
第6回	教育格差を考える(2)
第7回	教育格差を考える(3)
第8回	教育格差を考える(4)

第9回	ジェンダーについて考える(1)
第10回	ジェンダーについて考える(2)
第11回	ジェンダーについて考える(3)
第12回	ジェンダーについて考える(4)
第13回	人の多様性について考える(1)
第14回	人の多様性について考える(2)
第15回	人の多様性について考える(3)
第16回	人の多様性について考える(4)

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2022/11/25		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220592004101	科目番号 / Course code	05920041
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	B12異文化接触とコミュニケーション / Cross-Cultural Contact and Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古本 裕美 / Furumoto Yumi, 青木 恒憲 / aoki tsunenori		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	古本 裕美 / Furumoto Yumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	古本 裕美 / Furumoto Yumi		
科目分類 / Course Category	教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	furumoto_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟2階研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日13時-14時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>新型コロナウイルス感染症拡大に伴う入国制限のため、日本や長崎に観光に来る外国人の数は、2019年から2020年にかけて急激に減少しました。一方で、このコロナ禍においても日本で働く外国人の数は増加しました。コロナの状況が落ち着けば、おそらく、外国人観光客、留学生、外国人労働者の数は以前のような数に戻っていくことでしょう。そして、みなさんが街や大学で外国人に会う機会も徐々に増えていくと思われます。</p> <p>この講義では、まず、"やさしい日本語"について学びます。そして、自分が普段使っている日本語やコミュニケーションの仕方について振り返ります。最終的に、日本人と外国人が共に暮らすために必要なもの・ことについて仲間といっしょに考えます。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>a. 長崎大学や長崎県、日本にいる外国人の背景や受入に関する課題がおおまかに説明できる (1, 11)</p> <p>b. "やさしい"日本語を使って、外国人留学生とコミュニケーションができる (10)</p> <p>c. 自分が普段話したり、書いたりする日本語や、自分のコミュニケーションの仕方について客観的に捉えることができる (5, 8, 11)</p> <p>d. 日本人と外国人が共に暮らすために必要な (または大切な) もの・ことについて提案できる (2, 11)</p> <p>e. グループワークにおいて、仲間と協力しながら自分の役割を果たすことができる (9)</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は「不合格(D)」とする。 以下、合計100点のうち60点以上を合格とする。</p> <p>(1) 授業への取組み(積極的な参加)【5点】 (2) やさしい日本語クイズ【15点】 (3) プレゼンテーション2回【5点+35点=40点】 (4) レポート2回【20点+10点=30点】 (5) PBL学習計画【2.5点】 (6) PBL個別学習サマリー【5点】 (7) PBL振り返り記録【2.5点】</p>	
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照	
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<p>【事前】シラバスや「学習者ガイド」を見て次の授業の流れを把握する。そして、必要な作業を済ませる。(1h)</p> <p>【事後】グループワークの中で自分が担った作業や、与えられた課題を決められた時間までに済ませる。授業で扱った話題に関連する情報をインターネットや新聞で調べる。自分が住んでいる街、自分の身の回りにある物、自分や周りの人が話す日本語を、授業で習ったことと関連付けながら観察する。(3h)</p>	
キーワード/Keywords	日本語, コミュニケーション, "やさしい", 文化, 社会, 変容, 長崎	
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用しません	
受講要件(履修条件)/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948</p>	
備考(URL)/Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students		
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回(1校時)	・オリエンテーション ・日本在住外国人と訪日外国人	F
第2回(2校時)	・"やさしい"日本語 ・ユニバーサル・コミュニケーション	A C
第3回(1校時)	・「長崎にいる外国人について知る」調査についての説明と計画	A B C D
第4回(2校時)	・調査の計画と実施	A B D
第5回(1校時)	・調査結果のまとめと分析	A B D
第6回(2校時)	・成果発表	A B D
第7回(1校時)	・PBL(Problem Based Learning)についての説明 ・シナリオを読む(Step1) ・キーワードの抽出(Step2)	A B D
第8回(2校時)	・問題提示(Step3) ・問題の位置付け(Step4) ・学習の計画(Step5) ・中間発表の準備	A B D
第9回(1校時)	・中間発表	B

第10回（2校時）	・グループ別学習（Step6）	A D
第11回（1校時）	・学習成果の共有（Step7）	B D
第12回（2校時）	・学習成果の整理と発表準備（Step8）	A B D
第13回（1校時）	・学習成果の整理と発表準備（Step8） ・成果発表	A B D
第14回（2校時）	・成果発表	A B D
第15回（1校時）	・前週の発表のフィードバック ・本科目のまとめ	A

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2022/11/24		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220592004301	科目番号 / Course code	05920043
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	B12国際協力と開発援助 / International Cooperation and Development Assistance		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	青木 恒憲 / aoki tsunenori		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	青木 恒憲 / aoki tsunenori		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	青木 恒憲 / aoki tsunenori		
科目分類 / Course Category	教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	aoki.tsunenori@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する 宛に@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	坂本キャンパス 熱帯医学・グローバルヘルス研究科 グローバルヘルス総合研究棟5階507号室		
担当教員TEL/Tel	095-819-7895 (直通)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜から金曜まで 10時から16時まで 面談予約や質問はaoki.tsunenori@nagasaki-u.ac.jp宛とし、件名に学部名と氏名を入れて下さい。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>地球には78億人が暮らし、様々な問題と限界に直面しています。新型コロナウイルスなどの感染症の脅威、経済の停滞、環境の汚染などの問題は国境を越え、遠い国の出来事ではありません。そして人口の8割は開発途上国に暮らし、一層厳しい現実と直面しています。</p> <p>相互作用する世界で開発途上国について考えることは今日の我々にとって重要な問いです。開発途上国では何が、なぜ問題になっているのでしょうか。国際社会はなぜ、何に、どのように対処しようとしているのでしょうか。</p> <p>本科目は国際協力における開発援助の主要な概念、課題、仕組み、アクター、歴史、実例に関する基礎的知識を身につけ、開発途上国に対する国際協力について自分の考えを説明出来るようになることを目指します。</p>		
授業到達目標/Course goals	国際協力における開発援助の主要な概念、課題、仕組み、アクター、歴史、実例に関する基礎的知識を身につけ、開発途上国に対する国際協力について自分の意見を説明出来るようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	1. 課題 30点 2. 最終課題 70点 自分から意見や質問を多々発し授業に貢献した者にはこれら課題の総得点に10点まで加点します。総合点(100点) 60点以上を合格とします。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	1. 事前: シラバスや講義資料を見て次の授業の流れを把握する。分からない用語や疑問点を調べる。質問等を用意する。(1h) 2. 事後: 講義内容及び講義資料、参考文献等をもとに復習する。疑問点があれば調べ、要すれば教員に確認する。課題がある場合は、取り組み、指定された授業で提出する。開発援助についての自身の考えを順次検討、まとめていく。(1h)		

キーワード/Keywords	SDGs、国際協力、開発援助、政府開発援助（ODA）、国連、世界銀行、WHO、UNICEF、JICA、貧困、難民、ジェンダー、教育、保健医療、経済、環境、アジア、アフリカ、中東、欧州、中南米、国際政治、ナショナリズム、多様性、ボランティア、民間連携、新型コロナウイルス感染症
教科書・教材・参考書/Materials	教科書はありません。授業を通じて参考書籍等を紹介しします。 【一般的な参考資料】 開発協力白書 日本の国際協力 外務省ウェブサイトからダウンロード可能 国際協力機構年報 国際協力機構（JICA）ウェブサイトからダウンロード可能
受講要件（履修条件）/Prerequisites	1. 予め履修すべき科目はありません。 2. 授業中に発言する。 授業中に意見を述べたり、質問することは、自身の考えを磨く、疑問を解決する、他者の考えに耳を傾ける、他の受講生が共に学ぶ貴重な機会です。発言しない=授業や他学生に貢献する意思がないとも言えるでしょう。本科目の授業では意見や質問を求め、また当てます。発言したくない、当てられるのが嫌であれば、受講は勧めません。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	1. 授業の特徴：担当教員の実務経験を活かした理論と実務（実際）に基づく講義です。写真や動画、国際協力の事例の紹介やゲストスピーカーを迎え、生きた授業を心がけます。 2. 授業の形態：担当教員及びゲストスピーカーによる講義です。新型コロナウイルス感染症流行対応で方法が変わる可能性があります。 3. 授業の流れ：冒頭に前回授業の復習、学習の目標の提示、続いて講義（質疑含む）、最後に要点や授業の位置づけの再確認、次回の予告（あれば課題指示）をします。LACSに講義資料を掲示します。 4. 意見や質問：授業中の意見や質問を歓迎します。終了時の教室でも時間の限り受け付けます。「こんなことを聞いてもいいのかな」「分からなかった」といったことも遠慮せずに聞いて下さい。 5. 授業の進行：受講人数、進行具合、ゲストスピーカーの日程の都合により、授業の順番を変更する可能性があります。 6. 課題：剽窃、不正が認められた場合は該当箇所の評価をゼロとします。
学生へのメッセージ/Message for students	シラバスの内容に少しでも面白そうだとところがあったら、ぜひ受講してみてください。皆さんの受講を歓迎します。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	青木恒憲（本授業担当教員）/ 20年に亘り、日本政府の国際協力の実施機関である独立行政法人国際協力機構（JICA）で国際協力の実務に従事。アジア・大洋州、中東・欧州、アフリカ、中南米の保健医療分野のプロジェクトマネジメント、世界銀行、ビル&メリンダ・ゲイツ財団等とのグローバルパートナーシップ、民間企業や大学との連携を担当。保健医療専門家として2003年から2005年までマニラに保健医療プログラム企画調査員、2014年から2017年までガーナ保健サービスに地域保健政策アドバイザーとして駐在。現場調査・国際会議等で25カ国に滞在。/ 実務経験の紹介を交えながら本授業を担当する。 ゲストスピーカー / 国際協力の実務経験者 / 実務経験の紹介を行う。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回(1校時)	授業の紹介
第2回(2校時)	開発途上国の課題
第3回(1校時)	開発途上国の課題
第4回(2校時)	開発途上国の課題
第5回(1校時)	開発援助の仕組み
第6回(2校時)	開発戦略の歴史
第7回(1校時)	日本の政府開発援助
第8回(2校時)	日本の政府開発援助
第9回(1校時)	日本の政府開発援助
第10回(2校時)	国際協力への参加
第11回(1校時)	ゲストスピーカー
第12回(2校時)	ゲストスピーカー
第13回(1校時)	ゲストスピーカー
第14回(2校時)	開発援助の今後

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2022/11/24		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220586007401	科目番号 / Course code	05860074
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 14151_005		
授業科目名 / Course title	B13暮らしの中の化学 / Chemistry in Our Life		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鎌田 海 / Kamada Kai, 坂口 大作 / Sakaguchi Daisaku, 瓜田 幸幾 / Urita Koki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	鎌田 海 / Kamada Kai		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	鎌田 海 / Kamada Kai, 瓜田 幸幾 / Urita Koki		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	鎌田: kkamada_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください) 瓜田: urita_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	鎌田: 工学部1号館4階オープンラボ(14)-2 瓜田: 総合教育研究棟8階802室		
担当教員TEL/Tel	鎌田: 095-819-2667 瓜田: 095-819-2668		
担当教員オフィスアワー/Office hours	鎌田: 月曜日2校時 瓜田: 月曜日午後が望ましいが、あらかじめメール等でアポイントしてください。都合調整します。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	化学物質の性質がその機能の中核を担う身の回りの製品や機器に注目し、どのような分子・化合物(化学物質)によって構成されているのか、どのような性質が重視されてそれらの製品に採用されているのか化学的視点から学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	皆さんが普段の生活で利用している日用品や設備・機器について、どのような化学物質が使われ、その化学物質が示すどのような性質が重要であるのか理解できる。特に、パッケージされた製品全体ではなく、その機能の根幹をなす心臓部で使われる化学物質に着目し、物理的・化学的性質と機能性の関係を説明できるようになる。本講義では具体的に下記のトピックに関してその化学的思考に立った機構原理を説明できる。 (1) ガスセンサ(ガス漏れ警報器、ヘルスケアセンサ) (2) 原子力発電(核反応) (3) 太陽光関連技術(光触媒) (4) 蓄電デバイス(リチウムイオン二次電池、電気二重層キャパシタ) (5) 吸着材 (6) 炭素材料(ナノカーボン)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義内容に関連した課題レポートおよび演習問題の解答状況で評価する。また、講義への積極的参加状況を加味して評価する。 レポート・課題: 80%、積極的参加状況: 20%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習：次回のテーマについて調べ、使用される化学物質名やその性質について調べる。(2h) 事後学習：講義ノートを整理するとともに、講義中の配布資料などの演習問題を解き、講義内容の理解に努める。(2h)
キーワード/Keywords	化学物質、電気的性質、化学反応、エネルギー、表面化学
教科書・教材・参考書/Materials	必要に応じて各トピックに沿ったプリントを配布するか適当な教科書を紹介する。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	特になし。ただし、化学や化学現象について興味があると、講義に馴染みやすいと思われる。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	講義内容および周辺分野について書籍・新聞やインターネットの情報に興味を持って触れることにより、理解を深めるようにしてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1週(1, 2回目)	講義概要、進め方、評価について説明する。 トピック1-1: ガスセンサ(ガス漏れ警報器) 身の回りにガスセンサにはどのような種類があるのか把握できる。ガスセンサに使われる物質を知り、駆動原理を説明できる。
第2週(3, 4回目)	トピック1-2: ガスセンサ(ヘルスケアセンサ) 近年、普及しつつあるヘルスケアに使われるガスセンサの原理を説明できる。 トピック2-1: 原子力発電(核反応) 原子力発電の大まかな原理を知り、通常の化学反応と原子力発電で使われる核反応の相違について知る。
第3週(5, 6回目)	トピック2-2: 原子力発電(原子核分裂と運転制御) 核反応を使った原子力発電について、反応容器や反応制御を行う資材に使われる材料に着目して、運転制御の手法について説明できる。
第4週(7, 8回目)	トピック3: 太陽光関連技術(光触媒) 太陽電池は光エネルギーを電力に変換する技術であるが、太陽からの光エネルギーを化学エネルギーに変換する比較的新しい技術である光触媒の原理と利用法について説明できる。
第5週(9, 10回目)	トピック4-1: 蓄電デバイス(リチウムイオン二次電池) 蓄電デバイスの中で携帯電話やパソコンに内蔵されているリチウムイオン二次電池について原理を説明できる。
第6週(11, 12回目)	トピック4-2: 蓄電デバイス(電気二重層キャパシタ) 二次電池とキャパシタの作動原理の違いを説明できる。
第7週(13, 14回目)	トピック5: 吸着材(分子の吸着現象) 身近にある吸着材料がどのような機構で物を吸着するのか、吸着原理を説明できる。
第8週(15, 16回目)	トピック6: 炭素材料(ナノカーボン) 鉛筆の芯からダイヤモンドまで様々な形態をとる炭素材料の中でナノカーボンについて理解を深める。

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2022/11/25		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220586024101	科目番号 / Course code	05860241
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 14141_005		
授業科目名 / Course title	B13暮らしの中の物理 / Physics Applications in Daily Life		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	坂口 大作 / Sakaguchi Daisaku, 矢澤 孝哲 / Yazawa Takanori, 才本 明秀 / Saimoto Akihide		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	坂口 大作 / Sakaguchi Daisaku		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	坂口 大作 / Sakaguchi Daisaku, 矢澤 孝哲 / Yazawa Takanori, 才本 明秀 / Saimoto Akihide		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	daisaku nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください) yazawa nagasaki-u.ac.jp s-aki nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	工学部1号館3階ME-C302		
担当教員TEL/Tel	095-819-2519 (坂口) 095-819-2550 (矢澤) 095-819-2493 (才本)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日17時以降およびメールでの対応		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	力学およびエネルギーに関係のある身近な現象に焦点を当て、物理学の基本概念を理解し、さらに現象の数式による関係を理解し、数式を用いた自然現象の理解と利用への取り組みができるようにする。		
授業到達目標/Course goals	物理学の基本概念から身近な自然現象が説明でき、数学的な記述とその解法を図ることができる。 (DP-)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への積極的な参加状況と最終レポートで評価し、60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習・復習は欠かさず行うようにして下さい。前週に次週の講義の概要を説明し、予習のポイントを話します。授業終了時には復習のポイントを話して、次週の授業につなげるようにします。(各2h)		
キーワード/Keywords	翼理論, 人工知能, 光学, 相対性理論, 量子力学		
教科書・教材・参考書/Materials	必要な資料を配布する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	身近な工業製品を通して物理を理解できるようになります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	全体の概要, 流体力学: コアンダ効果の実験と解説 (圧力, 作用反作用)
第2回	流体力学: マグナス効果の実験と解説 (揚力, 自由渦強制渦)
第3回	エンジン概論: ガスタービンの分類のシステム
第4回	エンジン概論: ハイブリッドエンジンシステム
第5回	コンピュータ: 数値流体力学
第6回	コンピュータ: 人工知能とその応用
第7回	光学・電子機器: 結像光学とそれを利用した機器
第8回	光学・電子機器: 身の回りで使用されているセンサとその原理
第9回	製造と安全: 製造・検査のための物理現象
第10回	製造と安全: 事故の原因と物理現象
第11回	ガリレオの相対性原理とニュートン力学の歴史
第12回	相対性理論の基礎 (時空, 光速一定の原理と相対性原理から導かれる結論)
第13回	相対性理論の基礎 (相対論的速度の合成, ドップラー効果, エネルギーと質量の等価性)
第14回	量子論の基礎 (波動方程式とSchrodinger方程式)
第15回	自然エネルギーとその利用

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2022/11/24		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20220586037501	科目番号 / Course code	05860375
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	B14電気の物理とその応用(2020年度以前入学生用) / Electrical Physics and Applications		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	柳井 武志 / Yanai Takeshi, 兵頭 健生 / Hyodo Takeo		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	柳井 武志 / Yanai Takeshi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	柳井 武志 / Yanai Takeshi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医・保・歯・情・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	t-yanai nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は、 を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	工学部の2号館3F 308		
担当教員TEL/Tel	095-819-2554		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時対応します。事前にメールで連絡して下さい。12:00~12:50の時間帯はできる限り居室にいるようにしています。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講義では、電気に関連する様々な技術とそこにある物理現象を理解することを目的とする。また、これらの現象の応用について知識を習得する。		
授業到達目標/Course goals	1. 電気に関連する技術に関心を持つことができる。 2. 電気回路に関する簡単な問題を解くことができる。 3. 電気に関する簡単な課題を実施することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents of the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義中に行う課題(50点)と定期試験(50点)の合計により、授業到達目標を評価する。合計 60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	講義に関する資料を配布もしくは掲示するのでそれを読んで授業の準備をしておくこと(2h)。 毎回の復習課題として、演習問題もしくは演習問題に相当する課題を解く(2h)。		
キーワード/Keywords	電磁気		
教科書・教材・参考書/Materials	今のところ使用する予定はないが、使用することにした際には別途連絡する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	電気に関連する技術の説明を演習を交えて講義する予定です。電気を身近に感じて下さい。聴講学生の興味・関心に合わせて若干講義内容を変更する可能性があります。また、実験に関しては、受講者数によっては実施できない場合もあり、その場合は、講義などの代替措置を取る予定です。各自が関連する分野で電気に関するテーマを選択し、それに対するプレゼンテーションを実施してもらい、そのテーマを掘り下げた内容の講義を実施予定です。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス, 電気・磁気入門1
第2回	電気・磁気入門2
第3回	GUI (Graphical User Interface) デバイス1
第4回	GUI (Graphical User Interface) デバイス2
第5回	CAD (Computer-Aided Design) 技術1
第6回	CAD (Computer-Aided Design) 技術2
第7回	電気回路1
第8回	電気回路2
第9回	抵抗, コンデンサ, コイルに関する実験I
第10回	抵抗, コンデンサ, コイルに関する実験II
第11回	プレゼンテーション1
第12回	プレゼンテーション2
第13回	プレゼンテーション3
第14回	プレゼンテーション4
第15回	試験, 総括

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2022/11/28 ~ 2023/02/02		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20220586037701	科目番号 / Course code	05860377
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	B14身の回りの物質(2020年度以前入学生用) / Materials Around Us		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	兵頭 健生 / Hyodo Takeo		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	兵頭 健生 / Hyodo Takeo		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	兵頭 健生 / Hyodo Takeo		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医学部医学科・医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hyodo nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟7F西側		
担当教員TEL/Tel	095-819-2644		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜6校時(メールなどでアポイントをとること。ただし、E-mailによる質問などは、随時受け付ける。)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	主に、半導体・セラミックスを中心とした身の回りの物質の基礎および応用を体系的に理解することで、今後、学んでいく専門分野の知識と融合させ、学際的視点を育む講義です。長崎の伝統工芸(特に、陶磁器(オールドセラミックス)関連)、エネルギー(電池、発電など)、電気電子デバイス(スマートフォン、パソコンなど)、IT機器、医療&ヘルス術・環境関連装置などについて、使われている材料をベースに具体的に勉強していきます。		
授業到達目標/Course goals	私たちの身の回りに存在する半導体やセラミックスの機能や物性を理解できるようになります。また、それらが身近にどのように応用されているかを、主体的に認識できるようになります。 【対応する全学モジュールの目標】1, 2, 3, 4, 6, 7, 9, 10, B		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・点数配分: 最終試験: 70点, 積極性(特に, 調査研究およびディスカッション): 30点。 ・評価基準: 合計60点以上で合格。(ただし, 最終試験で60%以上を必要とする。)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	【予習(2時間)】LACSで配布する資料をダウンロードし、その内容を確認するとともに、文献や資料に基づいて調査してください。なお、講義中に簡単なプレゼンテーションをしてもらいます。その資料も作成してもらいます。 【復習(2時間)】講義の内容について十分に理解するために、資料を用いて復習してください。オンデマンド資料も活用できます。さらに、それらの内容に基づいて、各自で発展的な調査を行うことを勧めます。自分の専門分野で活用できる内容もありますので、それらについてはより具体的に詳細な調査をすると良いでしょう。		
キーワード/Keywords	材料, 化学, セラミックス, 機能, 物性, 構造, 電気, 磁性, 誘電性, 光, 構造, 電池, 触媒, センサなど		
教科書・教材・参考書/Materials	適時, 資料をLACSを通じて配布します。		

受講要件 (履修条件) /Prerequisites	高校レベルの物理・化学を理解していることが望ましいです。ただ、必須ではないので、気軽に受講してください。実際、高校で「物理未受講, 化学基礎のみ受講」の学生さんでも、十分に講義内容を理解し、高い評価で単位修得できています。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	材料の性質やそれらの応用に興味のある方を歓迎します。このモジュールを受講すると、「身の回りにある様々な物質にはどのような性質や機能があるのか」を具体的に理解できるようになります。また、わたしたちが日常使っている様々な家電製品やエレクトロニクスに、「物質」がどのように応用されているかを知ることができます。これらの知識は、皆さんの専門分野の勉強にはもちろんのこと、日頃の生活にも役立ちます。皆さんと、本テーマを通じて一緒に学べることを楽しみにしています。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	・身の回りで利用されているセラミックス：概論 ・長崎県(および佐賀県を含む肥前地区)で培われてきたオールドセラミックス：陶磁器
第2回	・半導体セラミックスに電気が流れる仕組み
第3回	・セラミックスの絶縁性・導電性 ・セラミックスの特殊な導電挙動 ・上述した機能を利用した応用
第4回	・超伝導の原理 ・超伝導を応用した製品
第5回	・機能性を持った絶縁体「誘電体」の原理 ・強誘電体・焦電体・圧電体への応用
第6回	・半導体の電気特性を利用した発光素子?T：発光ダイオード(LED)の原理 ・LEDの応用
第7回	・半導体の電気特性を利用した発光素子?U：半導体レーザーの原理 ・半導体レーザーの応用
第8回	・半導体を利用したガス検出デバイス：ガスセンサ ・セラミックスを利用したその他のガスセンサ・湿度センサ
第9回	・セラミックスを利用した発電デバイス：熱電素子, 1次・2次電池, 燃料電池 ・それらを利用した応用製品
第10回	・化粧品, 医療用・歯科用セラミックス,
第11回	・セラミックスの触媒・光触媒・抗菌作用, 吸着作用
第12回	・台所で使えるセラミックス ・セラミックヒーター
第13回	・人工宝石 ・セメント・石膏など構造用セラミックス ・医療・歯科用セメント
第14回	・セラミック繊維, カーボンファイバー ・光ファイバーなど光学材料 ・磁性材料 ・それらの応用製品
第15回	・めっき ・バイオセンサ ・その他

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2022/11/24		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220592004501	科目番号 / Course code	05920045
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	B14電気の物理とその応用 / Electrical Physics and Applications		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	柳井 武志 / Yanai Takeshi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	柳井 武志 / Yanai Takeshi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	柳井 武志 / Yanai Takeshi		
科目分類 / Course Category	教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医・保・歯・情・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	t-yanai nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	工学部の2号館3F 308		
担当教員TEL/Tel	095-819-2554		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時対応します。事前にメールで連絡して下さい。12:00~12:50の時間帯はできる限り居室にいるようにしています。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講義では、電気に関連する様々な技術とそこにある物理現象を理解することを目的とする。また、これらの現象の応用について知識を習得する。		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電気に関連する技術に関心を持つことができる。 2. 電気回路に関する簡単な問題を解くことができる。 3. 電気に関する簡単な課題を実施することができる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents of the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義中に行う課題(50点)と定期試験(50点)の合計により、授業到達目標を評価する。合計60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	講義に関する資料を配布もしくは掲示するのでそれを読んで授業の準備をしておくこと(2h)。毎回の復習課題として、演習問題もしくは演習問題に相当する課題を解く(2h)。		
キーワード/Keywords	電磁気		
教科書・教材・参考書/Materials	今のところ使用する予定はないが、使用することにした際には別途連絡する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	電気に関連する技術の説明を演習を交えて講義する予定です。電気を身近に感じて下さい。聴講学生の興味・関心に合わせて若干講義内容を変更する可能性があります。また、実験に関しては、受講者数によっては実施できない場合もあり、その場合は、講義などの代替措置を取る予定です。各自が関連する分野で電気に関するテーマを選択し、それに対するプレゼンテーションを実施してもらい、そのテーマを掘り下げた内容の講義を実施予定です。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス, 電気・磁気入門1
第2回	電気・磁気入門2
第3回	GUI (Graphical User Interface) デバイス1
第4回	GUI (Graphical User Interface) デバイス2
第5回	CAD (Computer-Aided Design) 技術1
第6回	CAD (Computer-Aided Design) 技術2
第7回	電気回路1
第8回	電気回路2
第9回	抵抗, コンデンサ, コイルに関する実験I
第10回	抵抗, コンデンサ, コイルに関する実験II
第11回	プレゼンテーション1
第12回	プレゼンテーション2
第13回	プレゼンテーション3
第14回	プレゼンテーション4
第15回	試験, 総括

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2022/11/28 ~ 2023/02/02		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220592004701	科目番号 / Course code	05920047
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	B14身の回りの物質 / Materials Around Us		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	兵頭 健生 / Hyodo Takeo		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	兵頭 健生 / Hyodo Takeo		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	兵頭 健生 / Hyodo Takeo		
科目分類 / Course Category	教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医学部医学科・医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hyodo_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟7F西側		
担当教員TEL/Tel	095-819-2644		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜6校時 (メールなどでアポイントをとること。ただし、E-mailによる質問などは、随時受け付ける。)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	主に、半導体・セラミックスを中心とした身の回りの物質の基礎および応用を体系的に理解することで、今後、学んでいく専門分野の知識と融合させ、学際的視点を育む講義です。長崎の伝統工芸 (特に、陶磁器 (オールドセラミックス) 関連)、エネルギー (電池、発電など)、電気電子デバイス (スマートフォン、パソコンなど)、IT機器、医療&ヘルス術・環境関連装置などについて、使われている材料をベースに具体的に勉強していきます。		
授業到達目標/Course goals	私たちの身の回りに存在する半導体やセラミックスの機能や物性を理解できるようになります。また、それらが身近にどのように応用されているかを、主体的に認識できるようになります。 【対応する全学モジュールの目標】1, 2, 3, 4, 6, 7, 9, 10, B		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・点数配分: 最終試験: 70点, 積極性 (特に, 調査研究およびディスカッション): 30点。 ・評価基準: 合計60点以上で合格。(ただし, 最終試験で60%以上を必要とする。)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	【予習 (2時間)】LACSで配布する資料をダウンロードし、その内容を確認するとともに、文献や資料に基づいて調査してください。なお、講義中に簡単なプレゼンテーションをしてもらいます。その資料も作成してもらいます。 【復習 (2時間)】講義の内容について十分に理解するために、資料を用いて復習してください。オンデマンド資料も活用できます。さらに、それらの内容に基づいて、各自で発展的な調査を行うことを勧めます。自分の専門分野で活用できる内容もありますので、それらについてはより具体的に詳細な調査をすると良いでしょう。		
キーワード/Keywords	材料, 化学, セラミックス, 機能, 物性, 構造, 電気, 磁性, 誘電性, 光, 構造, 電池, 触媒, センサなど		
教科書・教材・参考書/Materials	適時, 資料をLACSを通じて配布します。		

受講要件 (履修条件) /Prerequisites	高校レベルの物理・化学を理解していることが望ましいです。ただ、必須ではないので、気軽に受講してください。実際、高校で「物理未受講, 化学基礎のみ受講」の学生さんでも、十分に講義内容を理解し、高い評価で単位修得できています。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	材料の性質やそれらの応用に興味のある方を歓迎します。このモジュールを受講すると、「身の回りにある様々な物質にはどのような性質や機能があるのか」を具体的に理解できるようになります。また、わたしたちが日常使っている様々な家電製品やエレクトロニクスに、「物質」がどのように応用されているかを知ることができます。これらの知識は、皆さんの専門分野の勉強にはもちろんのこと、日頃の生活にも役立ちます。皆さんと、本テーマを通じて一緒に学べることを楽しみにしています。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	・身の回りで利用されているセラミックス：概論 ・長崎県(および佐賀県を含む肥前地区)で培われてきたオールドセラミックス：陶磁器
第2回	・半導体セラミックスに電気が流れる仕組み
第3回	・セラミックスの絶縁性・導電性 ・セラミックスの特殊な導電挙動 ・上述した機能を利用した応用
第4回	・超伝導の原理 ・超伝導を応用した製品
第5回	・機能性を持った絶縁体「誘電体」の原理 ・強誘電体・焦電体・圧電体への応用
第6回	・半導体の電気特性を利用した発光素子?T：発光ダイオード(LED)の原理 ・LEDの応用
第7回	・半導体の電気特性を利用した発光素子?U：半導体レーザーの原理 ・半導体レーザーの応用
第8回	・半導体を利用したガス検出デバイス：ガスセンサ ・セラミックスを利用したその他のガスセンサ・湿度センサ
第9回	・セラミックスを利用した発電デバイス：熱電素子, 1次・2次電池, 燃料電池 ・それらを利用した応用製品
第10回	・化粧品, 医療用・歯科用セラミックス,
第11回	・セラミックスの触媒・光触媒・抗菌作用, 吸着作用
第12回	・台所で使えるセラミックス ・セラミックヒーター
第13回	・人工宝石 ・セメント・石膏など構造用セラミックス ・医療・歯科用セメント
第14回	・セラミック繊維, カーボンファイバー ・光ファイバーなど光学材料 ・磁性材料 ・それらの応用製品
第15回	・めっき ・バイオセンサ ・その他

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 金 / Fri 1
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2022/11/24		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220586008102	科目番号 / Course code	05860081
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 12931_005		
授業科目名 / Course title	B15地球温暖化を考える / Introduction to Global Warming		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	富塚 明 / Tomiduka Akira, 河本 和明 / Kawamoto Kazuaki, 長江 真樹 / Nagae Masaki, 和達 容子 / Wadachi Yoko, 高尾 雄二 / Takao Yuji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	富塚 明 / Tomiduka Akira		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	富塚 明 / Tomiduka Akira, 河本 和明 / Kawamoto Kazuaki, 和達 容子 / Wadachi Yoko, 高尾 雄二 / Takao Yuji		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tommy nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	富塚(環327), 河本(環231-2), 高尾(環323), 和達(環434)		
担当教員TEL/Tel	富塚 (095-819-2767)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	富塚 月曜日12:00~12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	温室効果のしくみを学び、それに伴う気象および気候の変化を学ぶ。また、関連する国際条約の成 立過程や内容について学び、国家間の立場の違いや国際社会への影響について考える。さらに、化 石燃料の燃焼に伴い発生する大気汚染やエネルギー問題の現状を学ぶ。これらによって、地球温暖 化の防止が技術的かつ国際的に複雑な問題であることを理解し、改善のための手法を提案し、予想 される困難を考える。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化のメカニズムや主要因を説明でき、他人と議論し意見交換ができるようになる。(1, 3, 4, 9) ・将来および現在のエネルギー問題の概要を理解し定見交換ができるようになる。(1,5,9) ・再生可能エネルギーの現状や展望について理解できるようになる。(1,5,9) ・国際的な取り組みの概要を説明できるようになる。(1,4,5,7,10) 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	予習も含めて授業への積極的な参加(20点)、期末試験(80点) 班による活動を中心とした授業形式であるため休みがちまたは予習をさぼりがちな人は班員に多大 な迷惑が生じますので、欠席と未予習に対しては厳しい評価をします。 なお、対面での授業実施に制約がある場合は、期末試験を行わずに提出物で評価することがありま す。 なお、対面での授業実施に制約がある場合は、期末試験を行わずに提出物で評価することがありま す。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習：シラバスに記載された各回の題材について基礎知識を得て、疑問点を整理しておく。 (2h) 事後学習：扱った題材の内容、関連する専門用語・キーワードを十分に説明できるよう復習する。 (2h)		

キーワード/Keywords	温室効果, 地球温暖化, 物質収支, エネルギー収支, 化石燃料, 各国の立場
教科書・教材・参考書/Materials	特に指定はなし。予習時に各自で調べる。必要があれば配布する。
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	LACSを使って予習課題の確認。レポート提出などの作業があります。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	講義スケジュールについては第1回の講義で説明します。 班行動や宿題があります。欠席については厳しい評価をします。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 概要と進め方等の諸注意
第2回	地球大気の諸特性
第3回	気候を決める仕組み
第4回	気候変動の要因
第5回	将来の気候
第6回	閉じた地球と化石燃料
第7回	燃焼と大気汚染, さまざまな発電方式の比較
第8回	資源とエネルギーの起源
第9回	地球の温度の決まり方
第10回	温室効果ガスと地球温暖化
第11回	再生可能エネルギー活用の現状と展望
第12回	国際社会と地球温暖化問題
第13回	国際条約とその交渉 (1)
第14回	国際条約とその交渉 (2)
第15回	地球温暖化対策と私たちの選択

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2022/11/24		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220586008501	科目番号 / Course code	05860085
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 12941_005		
授業科目名 / Course title	B15水環境を考える / Water Pollution and Purification		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	長江 真樹 / Nagae Masaki, 仲山 英樹 / Hideki NAKAYAMA		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	長江 真樹 / Nagae Masaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	長江 真樹 / Nagae Masaki, 仲山 英樹 / Hideki NAKAYAMA		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	School of Medicine, Dentistry, Information and Data Sciences, Engineering For 1st, 2nd, 3rd and 4th grader of undergraduate student		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nagae nagasaki-u.ac.jp(When send e-mail, replace with @)		
担当教員研究室/Office	Room No.309-2, 3rd floor on the building of Faculty of Environmental Science		
担当教員TEL/Tel	095-819-2755		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Mon, Tue 13:30-16:00 E-mail communication is acceptable at any time.		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	Students will understand and explain the following: Quantification methods for water quality items Treatment methods for water supply and sewage Influence of water contaminants for aquatic environment Bio-remediation of water quality using plants		
授業到達目標/Course goals	Students will understand and explain the following: Quantification methods for water quality items Treatment methods for water supply and sewage Influence of water contaminants for aquatic environment Bio-remediation of water quality using plants Above course goals of this lecture conform to diploma policy of Nagasaki University.		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Mini test to confirm the contents in every lecture : 2 points x 15 times = 30 points Term-end exam = 70 points Total points =100 points 60 points or more is evaluated for credit approval.		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	Prior lecture learning: careful reading and understanding of lecture PDF (2hr) Post lecture learning: review of lecture contents (2hr)
キーワード/Keywords	water pollution, water supply, sewage treatment, aquatic and waterside environment, water resources
教科書・教材・参考書/Materials	Textbook is not used in this lecture. Lecture PDF file will be up-loaded on LACS system before every lecture day.
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office. Student Accessibility Office contact information (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1st	Lecture orientation
2nd	Historical circumstance of water pollution
3rd	Quantification methods for water quality items
4th	Sewage treatment-1 (active-sludge treatment)
5th	Sewage treatment-2 (septic tank treatment)
6th	Water supply-1 (purification and filtration for water contaminants)
7th	Water supply-2 (disinfection)
8th	Novel water contaminants
9th	Aquatic environment and ecosystem
10th	Self-purification activity of water environment
11th	Water remediation by wetland and plants
12th	Water quality standards
13th	Human activity and water resource depletion
14th	International activity for water environmental problems
15th	Worldwide water business
16th	Term-end exam

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2022/11/24		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220586008501	科目番号 / Course code	05860085
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 12941_005		
授業科目名 / Course title	B15水環境を考える / Water Pollution and Purification		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	長江 真樹 / Nagae Masaki, 仲山 英樹 / Hideki NAKAYAMA		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	長江 真樹 / Nagae Masaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	長江 真樹 / Nagae Masaki, 仲山 英樹 / Hideki NAKAYAMA		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nagae_nagasaki-u.ac.jp (を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部3階 環309-2 長江教員室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2755		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜・火曜 13時30分～16時。これ以外の時間帯もメールでの対応可 (nagae_nagasaki-u.ac.jp (を@に変更して送信してください))。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講義では、我々の生活において必要不可欠な水資源の利用およびそれがもたらす水環境への影響について学ぶ。具体的には、上水および下水に関連した種々の水処理技術を習得するとともに、人間の水利利用によって水環境がどのような影響を受けるのかを理解する。また、水環境汚染度合いの判定に関する各種測定法について学ぶ。さらに、水環境の汚染が様々な水辺の生き物に与える影響や植物等を利用した水質浄化の実例について学び、水を中心にヒトを含めた様々な生き物が多様で密接な関わりを持つことを理解する。		
授業到達目標/Course goals	水環境汚染について具体的に説明できる。 上水と下水に関連した種々の水処理技術について説明できる。 水環境汚染を定量的に調べるための測定法を説明できる。 水環境汚染が水辺の生き物に与える影響について具体的に説明できる。 これらは、長崎大学のディプロマ・ポリシーのうち、以下に合致する。 ・自ら学び、考え、主張し、行動することができる。 ・分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につけている。 ・地球環境と社会の多様性を理解している。 ・主体性をもって他者と協働できる。 ・地域社会および将来世代に貢献するグローバルな視点を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義中に行うレスポンスペーパー(理解度確認テスト: 2点×15回=30点)+期末試験70点=合計100 点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習：講義資料の熟読・理解（2hr） 事後学習：講義内容の復習（疑問点を明らかにする等）、返却されたレスポンスペーパー（毎回行う理解度確認テスト）の復習（2hr）
キーワード/Keywords	上水、下水、水処理技術、水辺の動植物、水資源、水質汚染
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用しない。パワーポイント資料あるいはプリント資料等を適宜配布する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	ノートをとらないと高得点は取れません。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション(講義内容説明・担当教員紹介)
第2回	水環境汚染の実態(過去に発生した主に重金属等(鉱山採掘等)による、いわゆる「公害」として発生した水環境汚染と、都市化によって引き起こされる有機物による水環境汚染)
第3回	水環境汚染の評価法・測定法(DO, BOD, COD, TOCの測定原理、数値の意味等について)
第4回	下水処理-1(活性汚泥法を中心とした有機物除去+高度処理&特殊処理)
第5回	下水処理-2(浄化槽による下水処理(浄化槽設置の背景・意味、環境への負荷等))
第6回	上水処理-1(普通沈殿-緩速ろ過、薬品沈殿-緩速ろ過)
第7回	上水処理-2(消毒)
第8回	新規な水環境汚染物質(内分泌かく乱化学物質、PPCPs、ナノマテリアル)
第9回	水辺の環境と生態系(水辺の環境が生態系に及ぼす影響)
第10回	水環境の自浄作用(物理的作用、化学的作用、生物的作用)
第11回	水環境の植生浄化(人工湿地、ビオトープなど植物を用いた水質浄化技術)
第12回	水質汚濁に係る環境基準と水環境健全性指標(水環境の総合的な評価)
第13回	人間活動と水資源枯渇問題(人間活動が要因となる水資源の枯渇問題について考える)
第14回	水環境問題に対する国際社会の取組み(世界の水問題に対する国際機関による取組み)
第15回	国際的な水ビジネス(世界的な水問題に対応する環境ビジネスの動向)
第16回	試験

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2022/11/25		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220586010101	科目番号 / Course code	05860101
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 14711_005		
授業科目名 / Course title	B16海の生物と多様性 / Marine Biological Diversity		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小山 喬 / KOYAMA Takashi, 竹垣 毅 / Takegaki Takeshi, 柳下 直己 / Yagishita Naoki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	小山 喬 / KOYAMA Takashi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	小山 喬 / KOYAMA Takashi, 竹垣 毅 / Takegaki Takeshi, 柳下 直己 / Yagishita Naoki		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takegaki nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	水産学部本館2階		
担当教員TEL/Tel	竹垣 (2819)、柳下 (2820)、小山 (2832)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	海洋生物 (遺伝子資源も含む)の個体, 個体群, 群集, 生態系の視点からみた多様性について幅広い視点から講義し, モジュール科目「海洋の生物と科学」や「生物から見た水産業」を理解するために必要な海洋生物科学に関する基礎知識を習得する。		
授業到達目標/Course goals	海洋生物の多様性 (種内・種間の多様性、遺伝子の多様性および生態系の多様性)の意味とその保全の意義について具体的に説明できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	評価: 講義への参加状況 (出席、レポートなど、30%)と小テスト (3回、70%)の合計で評価する。講義内容に関するレポートを課することがあるほか、グループ討議、口頭発表を実施する場合があります。 評価基準: 授業到達目標が達成できていれば合格 (60点)とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	配布したプリント資料などを参考に予習 (2h) することが望ましい。講義毎に課すレポートの作成により、講義内容の理解度を深める復習 (2h) をすること。		
キーワード/Keywords	生態系、生物多様性、魚類、進化、遺伝子		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用せず、プリント資料等を適宜配布する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考 (URL) /Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	講義には毎回出席するようにして下さい。講義毎のレポート課題は必ず提出するようにして下さい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション、3名の担当教員の紹介、講義の概要についての説明、種の概念と多様性
第2回	分類と系統, 進化
第3回	学名と和名
第4回	魚類の集団構造
第5回	資源としての生物多様性 (小テストあり)
第6回	進化からみた生物多様性
第7回	生物の性表現
第8回	生物の繁殖様式の多様性
第9回	生物の生活史の多様性
第10回	生物の絶滅と保全 (小テストあり)
第11回	生物多様性と進化
第12回	遺伝子の多様性と有性生殖
第13回	生物多様性および遺伝的多様性に関するグループ討議
第14回	生物多様性および遺伝的多様性に関する発表
第15回	遺伝子レベルにおける生物多様性の保全 (小テストあり)
第16回	予備日

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2022/11/24		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220586010901	科目番号 / Course code	05860109
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 14731_005		
授業科目名 / Course title	B16海とは何か? ~ 海洋生態系の現状と課題 ~ / An Introduction to the World's Oceans Environmental Problems in Marine Ecosystems		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	滝川 哲太郎 / Takikawa Tetsutaro, 武田 重信 / Takeda Shigenobu, 和田 実 / Wada Minoru, 柳 下 直己 / Yagishita Naoki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	滝川 哲太郎 / Takikawa Tetsutaro		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	滝川 哲太郎 / Takikawa Tetsutaro, 武田 重信 / Takeda Shigenobu, 和田 実 / Wada Minoru		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医(医・保)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tetu_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	水産学部本館3階A104室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は、前期に行われるモジュールII「海洋環境と保全」と連携しています。		
授業到達目標/Course goals	下記の項目など、少しでも海のことを知って、理解し、他の人に伝えらえるような、知識豊かな人 材になってもらうことを目標としています。 地球システムの中で、海が存在が、我々生命や地球環境の維持のために、どのように役に立っ ているのか、説明することができる。 海洋環境や生物の分布を決める様々な物理・化学的要因について、説明することができる。 海洋の環境・生態系と人間活動の基本的な相互作用について理解し、説明することができる。 海洋で起きている諸問題を理解し、今後の学習や社会貢献について積極的に考えることができる 。 海洋研究の歴史と発展について学び、学際的アプローチの重要性を理解することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業中の姿勢(小テスト等への回答)40%、授業で課されるレポート(アンケート等を含む)60%で 点数をつけます。60%以上で合格とし、期末試験はありません。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前に、参考書等に目を通しておきましょう(2h)。 講義を聞いて興味が沸いたところは、さらに参考書等で理解を深めたり、身近な人と海について議 論してみましょう(2h)。 講義内容で分からない点があれば、質問を受け付けます。		
キーワード/Keywords	海洋環境、海洋資源、海洋生態系、海洋リテラシー		
教科書・教材・参考書/Materials	資料は適宜配布しますが、下記の本も参考にして自己学習をしてください。 『海洋学』(ポール・R・ピネ著:東海大学出版)5,880円 『海洋科学入門』(多田、一見、山口著:恒星社厚生閣)2,700円		

受講要件 (履修条件) / Prerequisites	全回出席が原則ですが、やむを得ず欠席する場合は、理由と共に教員に事前連絡をするようにしてください。
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) / Remarks (URL)	
学生へのメッセージ / Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	和田 実 / 共同利用研究所の研究船および附属練習船で教員として野外調査の経験を持つ / 実務経験を活かして、海洋観測調査の経験や技法を授業で写真や動画を交えて紹介し、学生が海洋の環境・生態系と人間活動の基本的な相互作用について理解し、海洋で起きている諸問題や社会貢献について積極的に考察することを目標とする。 /
授業計画詳細 / Course Schedule	
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents
1	海の生き物の進化と多様性 (1) (和田) 海に住む生物の進化と多様性を理解する上で必要となる概念や、方法論について学びます。
2	海の生き物の進化と多様性 (2) (和田) 海に住む微生物と大型生物の進化と多様性について、学びます。
3	海の生態系の構造と機能 (1) (和田) 海の生態系の構造と機能について、基本概念や研究手法を学びます。
4	海の生態系の構造と機能 (2) (和田) 外洋、沿岸、深海など、多様な海の生態系の特徴について学びます。
5	まとめとディスカッション (和田) それまでの講義で寄せられた質問やコメントを公開し、知識を整理するとともに、海の生き物を保全する意義や、持続的に利用するための方策について考えます。
6	海洋学の歴史と未来 (武田) 海洋探検に始まる海洋学の歴史と発展について学び、海洋研究の未来を考えていきます。
7	海の資源と利用 (武田) 海洋と海底に存在する様々な鉱物資源と生物資源の概要と管理制度について学んでいきます。
8	海洋における人間の存在 (武田) 海洋汚染、乱獲、気候変動などの問題を通して、海洋生態系に人間が及ぼす影響を理解する。
9	海洋のCO2吸収機構とジオエンジニアリング (武田) 微量金属元素が海洋の一次生産に大きく関わっているしくみを学びながら、地球温暖化の現状と方策について考えていきます。
10	グループ討論と小テスト (武田) これまでの講義内容を踏まえたグループ討論を通して、海洋生態系に関する小テストの問題と解答をグループ毎に作成し、全員でクリッカーテストを行いながら、海洋と人間の関わりについて理解を深めていきます。
11	水の惑星「地球」 (滝川) 地球上の水、特に海洋の水温、塩分、海流などの基本的な分布について学んでいきます。
12	海水の運動：波動 (滝川) 風波、潮汐、重力波など、基本的な海洋波動の特徴について学んでいきます。
13	地球自転の効果を受けた海水の運動 (滝川) 海洋渦や黒潮などと関連づけて、地衡流について学んでいきます。
14	小テスト (滝川)
15	海流による輸送過程、まとめ (滝川) 様々な物質を輸送する海流の役割について学び、これまでの講義をまとめます。